

## 小西新右衛門家「酒永代覚帳」について

鎌谷親善

伊丹の酒造家として著名な小西新右衛門家には当家の酒造に関する記録が「酒永代覚帳」として残されている。その最も古いものは「享保式年丁酉九月吉日」と表紙に記されているものである。この帳面の第一丁の冒頭に「酒永代帳と申ハ享保二酉此帳始り」と記載されているように、これが最初のものである。この第一冊目は享保二年（一七一七）から記載がはじまり、享保七年（一七二二）年までの記録である。第二冊目は安永七年（一七七八）から始まる帳面であり、この間のものは見当たらない。このように喪失された帳面もあるが、明治十二年（一七八九）まで「酒永代覚帳」は継続して作成されていた。そして、すでに一部は伊丹市立博物館編「伊丹酒造家史料（上）」『伊丹資料叢書』八（伊丹市役所、一九九二年）において天明二年（一七七二）から弘化四年（一八四七）までを抄録して翻刻（三〇〇～六三頁）しており、伊丹市史編纂専門委員会編『伊丹市史』第五巻、史料編二（伊丹市役所、昭和四五年三月）においては「永代覚帳」として明治元年について翻刻（二九六～三〇〇頁）紹介している。

今回翻刻・紹介する「酒永代覚帳」の二冊目は享保二年（一七一七）

に始めて作られ、享保七年（一七二二）に至までの酒造記録が掲載されているとはいえず、小西新右衛門家における古い記録である「萬覚書」という帳面から元禄二年（一六八九）以降の酒造記録を転記している。したがって、最も古い酒造に関する記録はこの元禄二年からであるが、以降継続しているわけではなく、「酒永代覚帳」の最後の記録は享保七（一七三二）であるものの、この間には空白の年が少なからず存在する。「酒永代覚帳」に記載された酒造年度を表にして示しておく。

この帳面の本文は紙の裏表に書かれており、時には空白の紙もあるため、翻刻および解説に当たって使用したのは写真複写したものであることから、厳密にその丁数を記載することは困難であるので、以下では丁数についての記載を省いたことを予め断っておきたい。

第一冊目の帳面はおよそ一〇〇丁からなり、冒頭には先に触れたように「酒永代覚帳」をこの享保二年から作り始めたこと、および作成の由来が記されている。つぎの丁には「酒之覚」と題して新酒・前作りⅠ・Ⅱ（寒作り）・春作りについて、それぞれの製法を簡単に記し、ついで味噌および焼酎の製法を述べている。さらに丁を改め

抄・全記録の年	記録を欠く年
抄録の年	
元禄 2年(1689)～6年(1693)	元禄 7年(1694)～14年(1701)
元禄 15年(1702)～宝永 3年(1706)	宝永 4年(1707)～5年(1708)
宝永 6年(1709)	宝永 7年(1710)
正徳元年(1711)～享保元年(1716)	
全記録の年	
享保 2年(1717)～7年(1722)	

の午の春酒仕込みから始まっていた。そして、「酒永代覚帳」が作成される以前の享保元年(一七一六)までについては、すでに触れたように記載を欠く年もあるが、記録されている年の多くは抄録ではないかと思慮される。

享保二年からは、酒造に関して一定の方式のもとに詳細な記述が見られるようになるのである。しかも、小西新右衛門家のみではなく、出店の「鎔屋」における酒造も記載されている。その記述方式や内容に関しては、翻刻から容易に理解することができるので、説明は省略する。

て「式目」の項が置かれており、ここでは酒造における作業手順ないし注意事項が記載されている。「焼酎式目」においても同様である。以上のような、酒造一般に関する記述がまず見られるのである。

改丁の後、各年の酒造についての記録が記述され始める。その最初のもは「萬覚書」の書き写しである旨を述べ、原本の「萬覚書」の記載内容が不詳であるので明言はできないものの、それは元禄二年(一六八九)の冬および翌年

享保二年の記述のなかに「池田萬願寺屋酒之法」という項目があり、記載において汲水については「中水」の項とその水の量の記述が欠落しているものの、そこには仕込み配合が記載されている。当時にあって、いわゆる「撰州伊丹萬願寺屋伝」が酒造書として著名な存在であったことを示唆するものといえよう。そのさい、萬願寺屋が、伊丹ではなく、池田に所在する寺であることは地元であったことから知っていて、当然のこととして、訂正したものと思われる。蛇足と思われるが付記しておく。

この「酒永代覚帳」に記載されている仕込みに関して、その酏(元)始め、仕舞数、仕込配合、揚げ口、焼酎の打ち込み高、垂れ歩合などを摘出して、その一覧表を作成し、解説に付け加えて掲載しておいたので、全体を鳥瞰するのに便利かと思われ、活用していただければ幸いである。

本稿の作成にあたって、「酒永代覚帳」の閲覧、翻刻と転載を許可くださった小西新右衛門家に対して心からの謝辞を述べたい。この面倒な作業の実施に際して、ご厚誼とご援助を与えられた伊丹市立博物館前館長佐々木肇宏氏および現館長輪島恭仁雄氏に心からの謝意を表する次第である。「酒永代覚帳」の翻刻の契機を創り、その後のさまざまな作業の進行に尽力され、長い経験と造詣をもって技術の内容や酒造用語等に関してご指導・ご助言を頂いた菊正宗酒造記念館元館長森太郎先生に感謝の意を表したい。最後になったが、翻刻ならびに仕込み配合の一覧を作成するなど、数多くのご苦勞をお掛けした石川道子氏、それに土井康弘氏に厚くお礼申し上げたいのである。

## 小西新右衛門家「酒永代覚帳」一覧表

「酒永代覚帳」に記録されている酒造の仕込みの工程を表に取まとめたのが、この一覧表である。

### 凡 例

1. 酏・添掛・麴の米および水の単位は石。
2. 麴米の（ ）内の数値は初添・仲添・仕舞の合計量で、酏麴を除外したものである。換言すると帳面において「糶何石何斗、但元糶ハ外也」と記載されているものの各添掛の麴米の合計値である。
3. 酒造工程および原料の用語は、各欄の見出しでは当時の用語によったが、紛らわしいものは今日の使用語を使用した。例えば元（モト=酏）と本（モト=酏）は元、そえ、中、仕舞は初添、仲添、仕舞、そえ水、くみ水、仕舞水、水は汲水とした。
4. 原帳面に該当事項の記載を欠くときは空欄とした。

元禄2年(1689)

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
新酒	8月21日							
	20元		16日目			16日(目)		
	蒸米			(1石9斗)			焼酎、2元へ小升	
	麴米		1石0斗	1石6斗	2石5斗		1石3斗	
	汲水							
前作					10月 5日			
	30元					30日目		
	蒸米			(1.9)			焼酎、1元へ1太	
	麴米				2.4		半ずつ22太半	
	汲水						垂り、10太半	
目					11月25日			
	30元					37日目		
	蒸米			(2.2)			焼酎、内桶7元へ	
	麴米				2.1		1太ずつと1太半	
	汲水						ずつ9太入	
春作	12月26日							
	20元					40日目		
	蒸米			(1.9)			焼酎、1元へ1太	
	麴米				2.4		半ずつ	
	汲水							
大春	正月16日							
	19元							
	蒸米			(1.9)			焼酎、1元へ1太	
	麴米				2.3		半ずつ、29太半、	
	汲水						是は春の分、年	
							間焼酎976太	

元禄3年(1690)

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
新酒	8月27日 12元		15日目			14日目		
	蒸米				4.1		焼酎、2元へ1太半	
	麴米 汲水		0.9	(1.8) 1.6	2.6		ずつ、垂り11太、 焼酎が9太	
前作	9月27日 30元	1つ半	23日目					
	蒸米						焼酎、1元へ2太	灰、10太へ
	麴米 汲水		1.0	(1.9) 1.6	2.5		が31太	1升ずつ
日	20元	1つ						
	蒸米						焼酎、1元へ1太	灰、初頃10太
	麴米 汲水		1.0	(1.9) 1.6	2.4		片馬が15太	へ1升程、後は 止め
日	12月5日より 正月14日迄 40元							
	蒸米						焼酎、1元へ1太	
	麴米 汲水		1.0	(2.2) 1.6	2.1		ずつが20太	
日	正月15日より 27日迄 13元					42、3日目 あげ仕舞		
	蒸米						焼酎、以上10太	
	麴米 汲水		1.0	(1.9) 1.6	2.3		前作へ丑春へ焼 酎が79太	

元禄4年(1691)

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
新酒	閏8月6日 15元		17日目			15日目		
	蒸米				4.1		焼酎、1元へ片馬	
	麴米			(1.8)			ずつ	
	汲水				2.5		垂り、10太片馬	
前作り	9月14日 40元	1つ	10月7日 24日目			25日目より 35日目迄		
	蒸米						焼酎、1元へ片馬	
	麴米			(1.9)			ずつ	
	汲水				2.5		垂り、11太	
冬酒 罇	12月20日より 12月24日迄 34元					35、6日目 より40日目		
	蒸米							
	麴米			(2.2)				
	汲水				2.1			
春作り	12月25日より 正月24日迄 30元					40日目		
	蒸米							
	麴米			(1.9)				
	汲水				2.3			
♢元数104本								
半酒	6元							
	蒸米		1.0	2.0				
	麴米		0.3	0.6				
	汲水		0.9	0.9				
♢元数110								

元禄5年 (1692)

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
新酒	8月17日		9月4日					
	蒸米				4.1			
	麴米			(1.8)				
	汲水	元水6斗6升	1.0	1.6	2.5			
前作	9月17日より 48元	1つ半	25日目			22、3日目		
	蒸米						垂り、10太8歩	
	麴米			(2.0)				
	汲水		1.0	1.6	2.4			
月	10月12日より 40元	1つ	11月21日			35日目より 40日目		
	蒸米						垂り、10太4歩	
	麴米			(2.2)				
	汲水		1.0	1.6	2.1			
春	正月5日より26日迄 22元					40日目		
	蒸米							
	麴米			(2.2)				
	汲水		1.0	1.6	2.1			
大春	2月4日より8日迄 5元					25日		
	蒸米							
	麴米			(2.2)				
	汲水		1.0	1.6	2.1			
	ノ115元							

元禄6年 (1693)

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
新酒	8月29日より 24元		9月11日 13日目			14、5日		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ1太	
	麴米			(1.8)			半ノ18太	
	汲水		1.0	1.6	2.4			
前作	9月29日 44元		10月25日 26日目					
	蒸米				4.1		焼酎、4太	
	麴米			(2.0)				
	汲水		1.0	1.6	2.4			
月	12月13日より正月17日迄 38元							
	蒸米				4.0			
	麴米			(2.2)				
	汲水		1.0	1.6	2.1			
春	元月17日より 2月13日迄 26元					35日目 上げ仕舞		
	蒸米				4.2			
	麴米			(2.0)				
	汲水		1.0	1.6	2.4			

元禄15年(1702) 頭司 利右衛門

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
前作上	9月18日初 15元	1つ	10月24日					
	蒸米 0.2		1.0	2.0	4.0			
	麴米 0.6			(1.9)				
	汲水 0.66		1.0	1.6	2.4			
月	5元							
	蒸米 0.6		1.0	2.0	4.0			
	麴米 0.2			(1.9)				
	汲水 0.66		1.0	1.6	2.4			
月	20元							
	蒸米 0.6		1.0	2.0	4.0			
	麴米 0.2			(2.0)				
	汲水 0.66		1.0	1.6	2.4			
月	10元							
	蒸米 0.6		1.0	2.0	4.0			
	麴米 0.2			(2.1)				
	汲水 0.66		1.0	1.6	2.1			
日	11月29日より 正月27日迄 51元	1つ						
	蒸米 0.6		1.0	2.0	4.0			12月末頃より
	麴米 0.2			(1.9)				仕舞の分300
	汲水 0.66		1.0	1.6	2.4			太余り火入れ
	〆101元							

元禄16年 (1703) 頭司 利右衛門

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
日	9月23日 29元		10月13日 20日目					
	蒸米 0.6		1.0	2.0	4.0		焼酎入	
	麴米 0.2			(1.8)				
	汲水 0.66		1.0	1.6	2.4			
月	32元					11月11日		
	蒸米						焼酎、2元へ片馬	
	麴米			(1.9)			ずつ	
	汲水				2.4			
月	12月15日より 24日迄 10元							
	蒸米						焼酎、2元へ片馬	
	麴米			(2.2)				
	汲水				2.2			
月	12月25日より 正月22日迄 29元							
	蒸米						3印共、火入れ分	150太程火入れ
	麴米			(1.9)			へは焼酎入れず	灰、1元へ3升
	汲水				2.4			ずつ

宝永元年 (1704) 頭司 利右衛門

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
前日	9月24日 18元	1つ	10月16日 23日目		10月19日より 11月7日迄			
	蒸米							
	麴米			(1.8)				
	汲水				2.4			
月	11月8日より 12月7日迄 30元							
	蒸米							
	麴米			(1.9)				
	汲水				2.4			
寒作り 月	12月8日より 29日迄 22元							
	蒸米							
	麴米			(2.2)				
	汲水				2.2			
春作り 月	正月朔日							



宝永2年(1705) 頭司 利右衛門

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
┌	8月10日 20元		8月24日					
	蒸米		1.0	2.0	4.0		あま口故焼酎打	
	麴米			(1.9)			込	
	汲水		1.0	1.6	2.4			
日	9月21日 30元		10月18日					
	蒸米			(2.0)				
	麴米		1.0	1.6	2.4			
	汲水							
月	11月20日 10元程							
	蒸米			(2.0)				
	麴米		1.0	1.6	2.4			
	汲水							
月	12月朔日より 20元							
	蒸米			(2.2)				
	麴米		1.0	1.6	2.1			
	汲水							
月	12月20日頃より 30元							
	蒸米			(2.1)				
	麴米		1.0	1.6	2.4			
	汲水							
日	正月20日頃より 2月10日頃迄 30元							
	蒸米			(2.1)				
	麴米		1.0	1.6	2.4			
	汲水							
	元数140元							
月	冬1本、春6本、元7本 焼酎10石、もち小升10石5斗、麴小升3石5斗							

宝永3年(1706) 頭司 利右衛門

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
ㄗ	8月16日 25元							
	-----							
	蒸米		1.0	2.0	4.0			
	麴米			(1.9)				
	汲水		1.0	1.6	2.4			
ㄗ	9月15日 38元		10月10日					
	-----							
	蒸米							うち160太程
	麴米			(2.0)				火入れ
	汲水		1.0	1.6	2.4			
ㄗ	10月22日 30元				11月28日			
	-----							
	蒸米							
	麴米			(2.2、内15元は2.3)				
	汲水		1.0	1.6	2.1			
ㄗ	11月10日 52元							
	-----							
	蒸米							うち22元程
	麴米			(2.1)				火入れ
	汲水		1.0	1.6	2.4			
ㄗ	冬1本、春6本、ノ7本		焼酎10石、もち10石5斗、麴3石5斗					

宝永6年(1709) 頭司 平兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
ㄗ	8月26日初 30元				9月16日			
	-----							
	蒸米 0.6							
	麴米 0.2							
	汲水 0.66		1.0	1.6	2.4			
冬 ㄗ	9月21日 25元							
	-----							
	蒸米 0.6							
	麴米 0.2			(2.1)				
	汲水 0.66				2.4			
ㄗ	25元							
	-----							
	蒸米							
	麴米			(2.1)				
	汲水				2.3			
ㄗ	25元							
	-----							
	蒸米							
	麴米			(2.2)				
	汲水				2.2			

正徳元年 (1711) 頭司 平兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
ㄗ	8月14日 34元		8月26日 13日目		8月29日	9月11日 12日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	
	麴米		0.3	0.6	1.0		ずつ	
	汲水		1.0	1.6	2.4		垂り、10太6歩	
ㄗ	9月13日 35元		10月5日 23日目		10月8日	10月27日 20日目		
	蒸米						焼酎、1元へ凡片	
	麴米		0.3	0.6	1.1		馬ずつ	
	汲水		1.0	1.6	2.4		垂り、11太	
ㄗ	17太片馬 <sup>(マ)</sup>				11月5日		仕舞水、2元半は	
	蒸米						2石4斗	
	麴米		0.3	0.6	1.2		焼酎、1元へ片馬	
	汲水		0.95	1.6	2.3		ずつ。但し汲水	
							1斗多くした元には	
							焼酎を入れず	
ㄗ	37元				11月21日	12月20日 29日目		
	蒸米						焼酎、1元へ3斗	
	麴米		0.3	0.6	1.3		ずつ	
	汲水		0.95	1.6	2.2			
ㄗ	12月24日より 正月12日迄 20元							
	蒸米							
	麴米		0.3	0.6	1.2			
	汲水		0.95	1.6	2.3			

正徳2年 (1712) 頭司 平兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
ㄗ	8月24日 30元		9月7日 14日目		9月9日	9月21日 12日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ7歩 <sup>(マ)</sup>	
	麴米		0.3	0.6	1.0		半ずつ。変酒へは	
	汲水		0.95	1.6	2.4		1樽へ2升ずつ追加	
ㄗ	9月24日 24元半		10月21日 27日目		10月24日	11月13日 19日目		
	蒸米		0.285	0.57	1.145		焼酎、1元へ3斗7	
	麴米		0.95	1.6	2.4		合3勺5才ずつメ	
	汲水						7石5斗3升	
ㄗ	23元							
	蒸米						焼酎、1元へ3斗5	
	麴米		0.3	0.6	1.2		升2才ずつ	
	汲水		0.95	1.6	2.3			

正徳3年(1713) 頭司 平兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
ㄗ	8月10日 36元		8月24日 14日目		8月27日	9月11日 13日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	
	麴米		0.2733	0.5466	1.0932		ずつ	
	汲水						垂り、10太6歩	
日	9月11日 30元		10月10日 29日目		10月13日	11月2日 20日目	焼酎、元6つへ2	
	蒸米		0.285	0.57	1.145		石1斗、1元へ3斗	
	麴米						5升ずつにあたる	
	汲水						残りは打込みなし垂り、10太6歩	
月	19元							

正徳4年(1714) 頭司 平兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
ㄗ	8月晦日 20元		9月14日 15日目		9月17日	10月2日 15日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ4斗	
	麴米		0.3	0.6	1.0		ずつ	
	汲水		0.95	1.6	2.4		垂り、10太6歩7半	

正徳5年(1715) 頭司 平兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
ㄟ	8月27日 40元半		9月9日 13日目		9月12日	9月22日 10日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	
	麴米		0.3	0.6	1.0		ずつ、内2元は打	
	汲水		0.95	1.6	2.4		込みなし	
							垂り、10太6歩	
日	蒸米			(2.0)				
	麴米				2.4			
	汲水							
月	蒸米			(2.1)				
	麴米				2.3			
	汲水							
月	蒸米			(2.2)				
	麴米				2.2			
	汲水							

享保元年(1716) 頭司 平兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
日	9月11日 65~66元		9月29日 18日目		10月2日	10月17日 16日目		
	蒸米		0.3	0.6	1.1		焼酎、1元へ3斗	
	麴米		0.95	1.6	2.4		ずつ	
	汲水							
月	45元				11月6日			
	蒸米		0.3	0.6	1.1			
	麴米		0.95	1.6	2.3			
	汲水							
月	10月17日 30元		11月24日 38日目		11月28日	11月29日 31日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ3斗	
	麴米		0.3	0.6	1.2		3升ずつ	
	汲水		0.95	1.6	2.2			

享保2年 頭司 又兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
新酒 (丁)	8月18日 40元		8月29日 12日目		9月2日	9月13日 12日目		
	蒸米 0.6		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	すまし灰、膠
	麴米 0.2		0.3	0.6	1.0		ずつ	1元へ2升ずつ
	汲水 0.6		0.95	1.6	2.4		垂り、10太5歩5厘	
日	9月13日 30元		10月4日 21日目		10月7日	10月25日 19日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	
	麴米		0.3	0.6	1.1		ずつ	
	汲水		1.0	1.6	2.4			
月	45元					11月21日 26日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	
	麴米		0.3	0.6	1.1		ずつ	
	汲水		1.0	1.6	2.3			
月	10月22日 30元					11月28日	12月23日 25日目	
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	
	麴米		0.3	0.6	1.2		ずつ	
	汲水		1.0	1.6	2.1			
月	30元					12月19日	正月16日 27日目	
	蒸米		1.0	2.0	4.0		仕舞水、正月7日	
	麴米		0.3	0.6	1.1		から2石2斗5升	
	汲水		0.95	1.6	2.3		焼酎、1元へ片馬	
							ずつ	
日	19元半					正月10日	2月5日 26日目	
	蒸米		1.0	2.0	4.0		打込みなし	火入れ
	麴米		0.3	0.6	1.1			灰、1元へ1升
	汲水		1.0	1.6	2.3			ずつ

享保3年(1718) 頭司 又兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰	
ㄗ	8月28日 53元		9月10日 12日目		9月13日	9月22日 10日目			
	蒸米 0.6		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬 ずつ		
	麴米 0.2		0.3	0.6	1.0				
	汲水 0.6		1.0	1.6	2.4				
ㄗ	10月朔日 25元		10月20日 20日目		10月23日	閏10月11日 18日目			
	蒸米		1.0	2.0	4.0		仕舞水、はじめ の5元は2石3斗 焼酎、1元へ片馬 ずつ		
	麴米		0.3	0.6	1.1				
	汲水		1.0	1.6	2.4				
ㄗ	40元				閏10月14日	11月4日 20日目			
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬 ずつ		
	麴米		0.3	0.6	1.2				
	汲水		1.0	1.6	2.3				
ㄗ	閏10月25日 30元		12月10日 44日目		11月16日	12月14日 28日目			
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬 ずつ		
	麴米		0.3	0.6	1.3				
	汲水		1.0	1.6	2.1				
ㄗ	10元				12月11日	正月4日 24日目			
	蒸米		1.0	2.0	4.0		打込みなし	火入れなし 灰、1元へ2升 ずつ	
	麴米		0.3	0.6	1.2				
	汲水		1.0	1.6	2.3				
ㄗ	20元				12月19日	正月12日 24日目			
	蒸米		1.0	2.0	4.0		打込みなし	火入れなし 灰、1元へ1升 125ずつ	
	麴米		0.3	0.6	1.1				
	汲水		1.0	1.6	2.4				

享保4年(1719) 頭司 長兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
ㄗ	8月13日 48元	2ツ半、 2つ、3つ	8月24日 12日目		8月27日	9月6日 9日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、28元へ片	灰、すみ酒1元
	麴米		0.3	0.6	1.0		馬ずつ	につき1升2~
	汲水		1.0	1.6	2.4		20元へ1太ずつ	3合
ㄱ	9月12日 11元		10月6日 25日目		10月9日	10月26日 18日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		初めは打込なし	
	麴米		0.3	0.6	1.1		後の5~6元へ1	
	汲水		1.0	1.6	2.4		元につき焼酎片	
							馬ずつ	
ㄴ	9月29日 29元		10月23日 25日目		10月26日	11月18日 22日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	
	麴米		0.3	0.6	1.2		ずつ	
	汲水		1.0	1.6	2.3			
ㄷ	10月12日 40元		11月17日 36日目		11月21日	12月27日 36日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ3斗8	
	麴米		0.3	0.6	1.3		升ずつ	
	汲水		1.0	1.6	2.1			
ㄹ	10月朔日 36元		12月20日 79日目		12月23日	正月19日 26日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ3斗8	
	麴米		0.3	0.6	1.2		升ずつ、但し火入	
	汲水		1.0	1.6	23杯		れは打込なし。火	
							入り120太、但し	
							当年より湯せんは	
							やめ、直接火入れ	



享保5年(1720) 頭司 長兵衛 脇 権兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
ㄗ	8月21日 48元	2ツ半、 2ツ	9月2日 11日目		9月5日	9月16日 12日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、7元程は 1元へ片馬ずつ、 後は1元へつる榭 5斗ずつ	灰、すみ酒へ1元 に1升程ずつ 膠へも1元に1 升程ずつ
	麴米		0.3	0.6	1.0			
	汲水		1.0	1.6	2.4			
ㄗ	10月3日 10元		10月25日 23日目		10月28日	11月17日 20日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬 ずつ	
	麴米		0.3	0.6	1.1			
	汲水		1.0	1.6	2.4			
ㄗ	27元		11月3日		11月6日	11月28日 23日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬 ずつ	
	麴米		0.3	0.6	1.2			
	汲水		1.0	1.6	2.3			
ㄗ	10月18日 40元		12月朔日 43日目		12月5日	正月3日 29日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		打込みなし	
	麴米		0.3	0.6	1.3			
	汲水		1.0	1.6	2.2			
ㄗ	11月10日 15元		正月4日 54日目		正月7日	2月6日 29日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬 ずつ	
	麴米		0.3	0.6	1.2			
	汲水		1.0	1.6	2.3			

享保6年(1721) 頭司 長兵衛 脇 権兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
ㄣ	8月5日 40元		8月17日 13日目		8月19日	9月2日 14日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	灰、すみ酒へ
	麴米		0.3	0.6	0.9		ずつ	1元に1升、も
	汲水		1.0	1.6	2.4			ろみへ1升5合 ずつ
日	9月13日 10元		10月10日 27日目		10月13日	11月4日 22日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		打込みなし	
	麴米		0.3	0.6	1.1			
	汲水		1.0	1.6	2.4			
月	9月18日 30元		10月18日 30日目		10月21日	11月11日 21日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	すまし灰、すみ
	麴米		0.3	0.6	1.2		ずつ	酒1元へ1升2
	汲水		1.0	1.6	2.3			合ずつ
月	9月晦日 40元		11月11日 42日目		11月15日	12月14日 29日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	
	麴米		0.3	0.6	1.3		ずつ	
	汲水		1.0	1.6	2.2			
月	10月20日 15元		12月14日 54日目		12月17日	正月20日 34日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		打込みなし	火入れなし
	麴米		0.3	0.6	1.2			
	汲水		1.0	1.6	2.3			
甲	元は月の元 2元		11月21日		11月24日	12月20日 26日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		打込みなし	灰、1元へ2升
	麴米		0.3	0.6	0.9			ずつ
	汲水		1.0	1.6	2.6			火入れなし

享保7年(1722) 頭司 長兵衛 脇 利兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
ㄗ	8月15日 40元		8月26日 12日目		8月29日	9月11日 12日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	灰、1元へ1升2
	麴米		0.3	0.6	0.9		ずつ	合ずつ
	汲水		1.0	1.6	2.4			
丑	9月21日 15元		10月14日 24日目		10月17日	11月8日 21日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	灰なし
	麴米		0.3	0.6	1.1		内4元半は打込	
	汲水		1.0	1.6	2.4		みなし	
寅	25元		10月26日		10月30日	11月24日 25日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ3斗8	灰、1元へ3升
	麴米		0.3	0.6	1.2		升(片馬分)ずつ	ずつ。但しもろ
	汲水		1.0	1.6	2.3			みとすみ酒へ 半分ずつ
卯	10月8日 30元		11月17日 40日目		11月21日	12月22日 32日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	灰、もろみとす
	麴米		0.3	0.6	1.3		ずつ	まし酒の両方
	汲水		1.0	1.6	2.2			へ2升5合ずつ
辰	元は卯の元 20元		12月13日		12月15日	正月19日 34日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎打込、内5元	灰、もろみとす
	麴米		0.3	0.6	1.2		へ2太半ずつ	まし酒の両方
	汲水		1.0	1.6	2.3			へ1元へ2斗5 合ずつ
巳	元は辰の元 10元		12月28日		正月朔日	2月11日 41日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		打込みなし	灰、1元へ3升
	麴米		0.3	0.6	1.1			ずつ
	汲水 0.65		1.0	1.6	2.4			

鎰屋分 享保2年(1717) 頭司 利右衛門 長兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
△	8月18日 20元		8月30日 13日目		9月3日	9月14日 12日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ3斗8	灰、もろみ1元
	麴米		0.3	0.6	0.9		升ずつ	へ2升ずつ
	汲水		1.0	1.6	2.4		たり、10太5步7半	
△	9月10日 30元		10月2日 22日目		10月5日	10月24日 20日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎打込み半分	
	麴米		0.3	0.6	1.1		ほどするが、し	
	汲水		1.0	1.6	2.3		ないほうがよい	
							と聞き、止め	
△	10月5日 30元		11月12日 38日目		11月15日	12月9日 24日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		仕舞水、11月15	
	麴米		0.3	0.6	1.2		日より2石	
	汲水		1.0	1.6	2.1		打込みなし	
△	11月8日 29元		12月24日 46.7日目		12月28日	正月26日 27日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		仕舞水、正月9日	初80太程火入
	麴米		0.3	0.6	1.1		より2石3斗	れなし。後120
	汲水		0.95	1.6	2.4		打込みなし	太へ火入れ
								灰、1元へ1升
								ずつ

鎰屋分 享保3年(1718) 頭司 長兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
△	8月28日 30元		9月10日 12日目		9月13日	9月22日 10日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	灰、すみ酒へ船
	麴米		0.3	0.6	1.0		ずつ	1艘分に6合程
	汲水		1.0	1.6	2.4			ずつ
								船1艘分のもろみ
								凡元1つ分の7步
								程故に、1元に灰
								7合8勺程ずつ
△	10月朔日 30元		10月20日 20日目		10月23日	閏10月13日 20日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	
	麴米		0.3	0.6	1.2		ずつ	
	汲水		1.0	1.6	2.3			
△	10月16日 30元		閏10月27日 41日目		11月朔日	12月朔日 30日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		仕舞水、11月11日	
	麴米		0.3	0.6	1.3		より2石1斗ずつ	
	汲水		1.0	1.6	2.2		焼酎打込み4石	
							4斗、但し2元へ	
							4斗ずつ	
△	15元		12月12日		12月15日	正月11日 25日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		打込みなし	灰、もろみ2元
	麴米		0.3	0.6	1.2			へ3升ずつ
	汲水		1.0	1.6	2.3			火入れあり

鑑屋分 享保4年(1719) 頭司 利右衛門 又兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
△	8月11日 49元	1つ～ 2つ半	8月21日 11日目		8月25日	9月5日 11日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、24元へ片	
	麴米		0.3	0.6	1.0		馬ずつ	
	汲水		1.0	1.6	2.4			
△	9月11日 10元		10月7日 27日目		10月10日	10月27日 19日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0			
	麴米		0.3	0.6	1.2			
	汲水		1.0	1.6	2.3			
△	9月晦日 28元		10月21日 21日目		10月24日	11月18日 24日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、後の15～	
	麴米		0.3	0.6	1.2		16元は1元につ	
	汲水		1.0	1.6	2.3		き片馬ずつ	
△	10月8日 50元		11月12日 35日目		12月28日	正月28日 30日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		打込みなし	150太火入れ
	麴米		0.3	0.6	1.2			
	汲水		1.0	1.6	2.1			

鑑屋分 享保5年(1720) 頭司 利右衛門 脇 山本五兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
△	8月21日 46元		9月3日 12日目		9月6日	9月16日 11日目	焼酎打込、はじ	
	蒸米		1.0	2.0	4.0		めの1元へ3斗7升	灰、もろみ1元
	麴米		0.3	0.6	1.0		ずつ、のち半元へ	へ5合ずつ
	汲水		1.0	1.6	2.4		5斗ずつ、その後	すみ酒1元へ5
							は1元へ5斗ずつ	合ずつ
△	10月4日 24元		10月27日 24日目		10月30日	11月19日 20日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		打込みなし	
	麴米		0.3	0.6	1.2			
	汲水		1.0	1.6	2.4			
△	10月16日 60元		11月14日 29日目		11月19日	12月17日 28日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		打込みなし	
	麴米		0.3	0.6	1.3			
	汲水		1.0	1.6	2.1			
△	11月17日 16元		正月4日 47日目		正月8日	2月13日 35日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		打込みなし	灰、1元へ1升6
	麴米		0.3	0.6	1.2			合ずつ
	汲水		1.0	1.6	2.4			火入れなし

鎚屋分 享保6年(1721) 頭司 利右衛門 脇 丹波屋伝兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
△	8月5日 40元	2つ	8月17日		8月20日	9月3日 14日目	焼酎、8元へ、1元 に2斗5升ずつ、12 元へ1元に2斗2 升5合ずつ。残り 1元へ2斗ずつ	灰、8元にはも ろみ1元へ1升 5合ずつ。12元 は1元へ1升2合 5勺ずつ。 すみ酒1元に 2升5合ずつ
	蒸米		1.0	2.0	4.0			
	麴米		0.3	0.6	0.9			
	汲水		1.0	1.6	2.4			
△	9月13日 40元		10月10日 27日目		10月13日	11月3日 21日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		打込みなし	
	麴米		0.3	0.6	1.2			
	汲水		1.0	1.6	2.4			
△	9月29日 42元半		11月10日 40日目		11月15日	12月14日 29日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ3斗7 升5合ずつ	
	麴米		0.3	0.6	1.3			
	汲水		1.0	1.6	2.2			
△	10月19日 7つ半		12月16日 57日目		12月20日	正月23日 34日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		打込みなし	灰、1元に1升 ずつ
	麴米		0.3	0.6	1.2			
	汲水		1.0	1.6	2.4			
卍	11月29日 6元		正月14日 45日目			2月8日 21日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、3元へは1 元につき5斗ず つ、3元へは1元 に7斗5升ずつ	火入れしない のは常の通り 但し水多い分 には火入れ、 煮詰
	麴米		0.3	0.6	1.0			
	汲水		1.0	1.6	2.4			

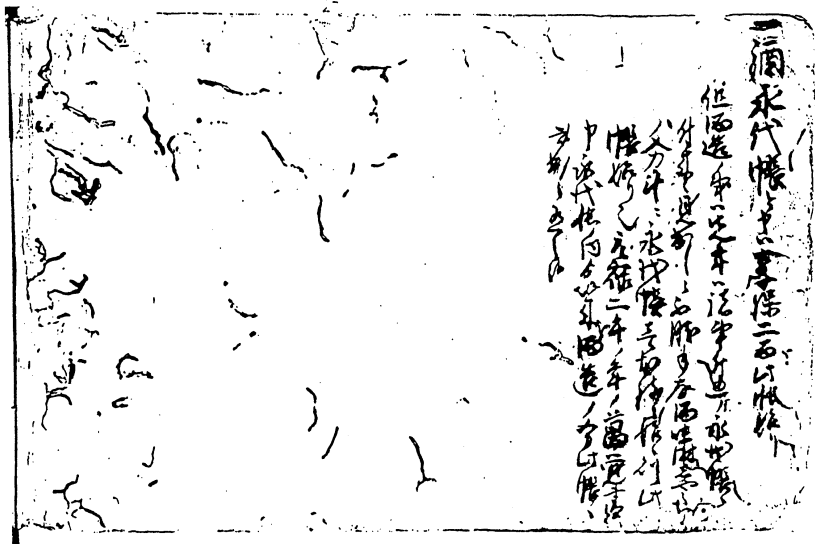
鎗屋分 享保7年(1722) 頭司 利右衛門 脇 伝兵衛

	元初	仕舞数	初添	仲添	仕舞	揚口	打込・垂り	火入・灰
八	8月15日 40元	2つ	9月朔日 16日目		9月4日	9月16日 13日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ3斗7	灰、すみ酒1元
	麴米		0.3	0.6	0.9		升5合	へ5合つつ。
	汲水		1.0	1.6	2.5			もろみ1元へ 1升5合ずつ
全	9月16日 20元		10月8日 22日目		10月11日	11月7日 26日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	灰、もろみとす
	麴米		0.3	0.6	1.2		ずつ	ましの両方へ
	汲水		1.0	1.6	2.3			1元につき1升 5合ずつ
全	10月5日 70元		11月10日 35日目		11月14日	12月11日 28日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元に3斗7	灰、もろみとす
	麴米		0.3	0.6	1.3		升5合ずつ	ましの両方へ
	汲水		1.0	1.6	2.2			2升ずつ
卍	11月11日 5元		正月19日 68日目		正月23日	2月25日 33日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、5元へ3太	火入れなし
	麴米		0.3	0.6	1.0		(2石2斗5升)	
	汲水		1.0	1.6	2.5			
全	11月11日 5元		正月16日 65日目		正月19日	2月18日 30日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		焼酎、1元へ片馬	灰、1元へ1升
	麴米		0.3	0.6	1.0		ずつ	5合ずつ
	汲水		1.0	1.6	2.5			
全	元は全の元 10元		正月20日		正月23日	2月22日 30日目		
	蒸米		1.0	2.0	4.0		3元は打込みな	灰、1元へ1升
	麴米		0.3	0.6	1.0		し。7元は1元に	5合ずつ
	汲水		1.0	1.6	2.5		焼酎片馬ずつ	

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16



小西長久書  
 〇  
 125-1



酒永代帳  
 此酒造年元本江中...  
 分年...  
 大分...  
 惟...  
 中...  
 考...







丁 享保式年

酒永代覚帳

酉 九月吉日

(小西家文書)

桶ノ勝手ニ而九斗入テ仕舞ニ指引スルモヨシ

くミ水 一石六斗 桶三本ニスルコトモアリ

仕廻水 式石五斗か四斗か

大かた式石五斗か吉シ、タリ無数故也、少うすき分ハ新酒

ハ不苦

かうし 一石九斗

十四五日目ニそへカケ

十六七日目ニ上ケ

仕廻ノ桶数

毎年ノ其先ノ年ノ仕かけ見可申事

一前作り 壹ツ半ヲ仕廻、正月ハ廿日頃ニ仕廻申様ニ惣高積リ可見

事

元若キハ花ふり出可申候、其故ハ春酒ニ花ト云コトナシ、冬

酒前作りニ花多シ、是元ノワカキト知ルヨリ外ナシ、焼酎多

入候へハ大かたハ花ナシ、ソレテモ花フル年ハフルソ

元 立冬より五日前、水六斗六升か見合

半切六ツ

水そへ 壹石

くみわけ 一石六斗

仕廻 式石五斗

アタ、カ成年ハ式石四斗

○トカク新酒ノタリヲ見ヨ、其年ノ風義、タリ無数年ナラハ如此

ニ、新酒ノタリ多ハ、タリ多キ年ト知テ仕廻水式石四斗ニスへ

シ、新酒ノタリ無数ハ、タリ無数年ト知テ式石五斗ニスへシ

一酒永代覚帳と申ハ享保二酉此帳始リ

但、酒造ノ事ハ先年ハ諸事付込ノ永代帳へ付来候、見出しニ不

勝手故、酒、味醂、しやうちうノ分斗ニ永代帳壹本致し始候、

則此帳始リ也、元禄二年ノ年ノ萬覚書と申永代帳ノ内より以来

酒造ノ分此帳へ書出し有之候

酒之覚

一新酒

九月節より凡二日前ニ元

○半切六ツ○日ノ中ニ四度、夜へ入テ一度○手がき○団子ニ而

能あをき覚ス、半切ノ辺へ水打、別而○ホメク夜ハ裏へ出シ、

一式尺程上ニ戸板ヲ置、サマス○悪敷元ハ捨テ蔵ニ置テ○取

ワケ、タリ見合ニ可致

水そへ 壹石

毎年く其先ノ年ノ仕かけヲ見可申候

二月

元ノ時ヨリ米白ク糍ニ念入、能カレ申様ニ前カタヨリ可積

そへ水 壹石

くミ水 一石六斗

仕廻水 貳石壹斗

かうし 貳石貳斗

毎年く其前ノ年ノ仕かけ見可申候

三月ハ糍多ク、水ヒカヘ、米白クスル故アマロニ出来ソ、用心シてカラロニ出来ルヤウニスヘシ、風味もカラロノ方ニ能所多シ

一春作り

そへ水 壹石

くミ水 一石六斗

仕廻水 貳石四斗

かうし 一石九斗

○但、大春ハ仕廻水貳石三斗、冬ノ内ニ壹ツ半ヲ仕廻、正月廿日頃ヨリ延不申候かヨク候、世間酒ノ替り多クハ春作りニアリ

○春ハ氣緩ク成テ米クロク成物也、可改

○去ル年樽不参、春ノ仕廻ニ詰口延タル年酒替り候、桶ニ久敷置事アシク候

○イセゴシト云モアマリヨロシカラス、澄兼ヌル時ハイセコシスヘシ、ソレモ随分手廻シハヤク樽へ詰申ヤウニスヘシ

上ケ口、春成り候ハ、船ヲ壹艘外ニ立テ上ケ口廿五日か卅日ヨリハ延ヘカラス、作ル時斗考ヘテ、アタ、カ成時桶ニ置事ヲ不恐ハアヤマリ也、常ノ物ヲ見ヨ、春ハ持カヌルソ、勿論大キ成桶ニ粕ト一所ニ置テ可然哉

一味淋 一印莖包

紙屋八左衛門殿ノ仕込法

もち白 ツる八石 今ハ八石五斗

かうし 同貳石五斗 今ハ貳石七斗

焼酒 ツる升拾石

是ヲ聞テ手前

一焼酎 拾一石

もち白 小升拾一石 但、焼酎拾石ニもちツる八石三斗ツ、

かうし白 小升三石五斗 但、焼酎拾石ニツる貳石六斗五升ツ、

辰ノ春ミりん

一しやうちう 拾石

もち白 小升拾一石

かうし 小升三石四斗

右之通、足少よわく候故

元禄十六末ノ春

一しやうちう 拾石 ツる升

一もち白 拾石五斗 小升

一かうし 三石三斗 小升

焼酎 取やう二而大キニ違、若粕買候ハ、可念入、粕ニ大キニ

違有、ねかかけん、火かけんこまかにくたき、何か大や

う成ハ手前ニ而取申か損也

味淋へハゆけ七斗五合

三十こしき式升三合三勺

ぬか四升ツ、

○新酒ノ粕ハゆけ六斗七升、或ハ八升可見合

○酒打込ハゆけ六斗

三十こしき式升

○新酒ノ糟ハゆけ五斗八升、或ハ七升、或ハ五升

○春ノ酒へ打込ハゆけ五斗五升

壹升八合五勺 三十こしき

是を末の春は[五]ノ同前ニして打込申候

[五]打込ハ、ゆけ四斗九升、或ハ五斗一升、三十こしき一升七合

本直シ

一 焼酎拾石

もち ツる一石五斗

かうし米 五斗

○如此ニして上げ口ニ味アマクハ、焼酎ヲ何程ニテモ入、カラ口

ガ能候

○印ハホ

○老樽へ三斗六升五合ツ、込

○包立貫目式拾貫ツ、有之様ニ可致候

式目

一 酒取付ニ黒米升、白米升、水斗桶可改、并壺之水溜メ

一 元之善悪可改、同かれ口未々たまり之積り之仕掛ケ

一 十日目ニ踏米黒白可改、并白米溜り可改事

一 半切米・俵米升目可改、并踏頭領ニ無如存様ニ申付候

一 十日目ニ糶可改、并やり所可聞

一 一日之薪改可見候、食之むせ様可改

一 酒上ケ口可改、末ノ積り、并かすノおせ、糟ノつぶれ、粕ノ厚

薄

一 酒澄口可改

一 樽味入、同貫目改可申候、十日目ニ

一 樽之善悪当座ノ改、悪敷樽ハ当座ニ戻シ可申事

一 樽取様可改

一 樽出入勘定月ニ老度

一 樽包様可改、月ニ老度同印之仕様

一 火ふた、すみけし可申付事

一 九日、十九日、廿九日ニさうし可仕候、からうす部屋、米蔵、

裏門方々吟味可致

一 十日目ニノ、田中屋ニ諸事可申付事

一 元かき、米洗、酒かき、道具洗、もり見、他出、火用心、油

一 夏頭領ニ米踏之やとひ様尋、氣ニ不入者ハのけ可申候事

一 夏ノ内たはい、焼酎桶ノもり度々可見事

焼酎式目

一 十日目ニ取年頭ニ申付候

火加 糟くたき 下湯

一 一日薪可改、かまこそけ日ませ

一 火くはり、あたり人、朝起

一 こしき数多少可改、焼酎多少可改

但、壱太ニ幾こしきにてつまり申哉可尋

一 十日目ニ焼酎可改

一 市毎木ノ買ヲ尋、未々積り、下直ノ時分買置可仕候

一 火用心可申付候

元禄貳年巳ノ冬、午ノ春酒仕込

一新酒 八月廿一日より元 廿元  
十六日目ニ添

かうし 一石九斗

添水 壱石 九斗くミ候へ共来年ハ此通りニ可仕候

くみ水 一石六斗

仕舞水 貳石五斗

しやうちう 貳元へ小升一石三斗

あけ口 十六日 貫目 貳拾貫八百

一 前作 十月五日より仕舞

三十元

かうし 一石九斗

仕舞水 貳石四斗 来年ハ貳石五斗ニ

あけ口 三十日目ニあけかゝり

貫目 廿一貫 たり十太半

しやうちう 壱本へ壱太半ツ、廿貳太半

一 丑 卅元 十一月廿五日より仕舞

かうし 貳石貳斗 来年ハ貳石壱斗ニして壱斗仕舞へ食入可申哉

仕舞水 貳石壱斗

あけ口 卅七日目より上ケかゝり

内桶七本へ壱太ツ、と壱太半と、以上九太入申候

一 春作 貳十 十二月廿六日より

かうし 壱石九斗

仕舞水 貳石四斗

あけ口 四十日目程

しやうちう 壱本へ壱太半ツ、

一 大春 正月十六日より 十九元

かうし 壱石九斗

仕舞水 貳石三斗

しやうちう 壱本へ壱太半ツ、以上廿九太半、是ハ春ノ分、

以上

しやうちう 一斗・一斗・春、何かニ以上六十一太  
又新酒へ十五太

貳口合七十六太也

元禄三年午ノ冬酒

一新酒 十式 八月廿七日ニ仕候、九月ノ節六日前

半切六、水・かうし如常

十五日目ニ添

○添水 九斗

○くミ水 一石六斗

○仕舞水 式石六斗

○仕舞ノ食 四石壹斗

○かうし 以上二一石八斗

○焼酎 式元へ壹太半ツ、

あけ口 十四日目

たり 拾一太

しやうちう以上九太

貫目 廿一貫より少内も有之、升目三斗六升五合ヲ中にして

一前作り 卅 壹ツ半ニ仕舞、廿日ニ三十

元 九月廿七日ニ致候へハ殊之外ほめき申候、但九月節より八

日前

余りほめき半切ニ七日八日ならでは持不申候ニ付、元かけん

悪敷候、其故初桶式本ハ元ノ香のき不申候、九兵衛・善兵衛

兩人ハ添ノ食少さめ過申故と申候、廿三日目ニ添仕候

水添 壹石 くミ 一石六斗

仕舞 式石五斗ニ仕候

かうし 壹石九斗

又四ツ、是ハ水同前故同印ニしてこも包ニして下、是迄ハ皆上

こも包

しやうちう 壹本へ式太、しやうちうノ三十一太也、はい十太

へ壹升ツ、

蕨包 右ノ次ニ壹ツ仕舞 廿

かうし 壹石九斗 貫目廿一貫、三斗七升ノ内

添水 一石 くミ 壹石六斗

仕舞水 式石四斗

しやうちう 壹本へ壹太片馬

以上拾五太しやうちう入

はい 初頃ニ拾太へ一升程ツ、後ニハ止メ

極五日より正月十四日迄 四十

但、寒七日過

かうし 式石式斗 そへ水 一石

くミ水 一石六斗 仕舞水 式石壹斗

しやうちう 壹本へ壹太ツ、

貫目 包立廿一貫五七百

枅目 三斗七升壹式合

以上しやうちう式十太

蕨包 正十五日より正廿七迄 十三

かうし 一石九斗

添水 壹石 くミ水 一石六斗

仕舞水 式石三斗

しやうちう 以上十太

あけ口 四十二三日目上ケ仕廻

しやうちう 七十九太入

又、新酒へしやうちう九太

元禄四年末ノ冬酒

一新酒元 閏八月六日、九月節五日前 十五

なまわき故十七日目そへ

仕舞水 貳石五斗

かうし 一石八斗

仕舞食 四石壹斗

上ケ口 十五日目

たり 拾太片馬斗り

しやうちう 一元へかた馬ツ、

一前作り 九月十四日、十月節より三日前

十月七日ニそへ、廿四日目ノそへ

しやうちう 初ノ分へ壹本へ片馬ツ、以上七太

あけ口 廿五日目ニ上ケかゝり、卅五日くらいニ上ケ仕舞

仕舞水 貳石五斗

かうし 一石九斗

壹ツ仕舞ニして十月十日より十一月十九日迄四十元、同前ニ仕

舞

たり 拾一太

一冬酒 十二月廿日より仕舞 十二月廿四日迄元 三十四元

かうし 貳石貳斗

水 貳石壹斗

あけ口 三十五六日ニ上ケかゝり、四十日めニ仕舞

たり

一春作り 十二月廿五日より正月廿四日迄三十元

かうし 一石九斗

水 貳石三斗

あけ口 四十日目よりあけかゝり

たり

元数百四本仕舞

一半酒 添 壹石 かうし 三斗 水 九斗

くミ 貳石 かうし 六斗 水 九斗

如此ニ六ツ仕舞

しやうちう

此酒合

惣合百十ヲ

元禄五年申冬酒

一新酒元 八月十七日、但九月節より九日前、世間ひへ申故也

元よくわき候へ共、用心ニ而わき入、九日目よりそへかけ、

九月四日よりそへかけ申候、然以上十七日目ニそへかけ申候、



少元かれ過申候、然共世間より四五日も元のへテそへかけ申候間、能かあしきハ江戸ニ而ならてハ知不申候、あま口ニ而

あしく候、新酒ノ元ハかれ過申候ハあしく候

元水六斗六升、松屋ノなミニくミ申候、毎年六斗ツ、ニ致候得共、是がよき由ニ候故也

元 半切六ツ、後ハ段々打あわせ申候

そへ水 壱石 くミ水 一石六斗

仕舞水 貳石五斗

かうし 一石八斗

仕舞食 四石壱斗

但、あま口ハイやならハ、四石も可然か

一前作元 九月十七日より壱ツ半ノ

九<sup>ナ</sup>七<sup>ナ</sup> 五<sup>ナ</sup>ツ 五<sup>ナ</sup>ツ 五<sup>ナ</sup>ツ 五<sup>ナ</sup>ツ

九<sup>ナ</sup>七<sup>ナ</sup> 五<sup>ナ</sup>ツ 五<sup>ナ</sup>ツ 五<sup>ナ</sup>ツ 五<sup>ナ</sup>ツ

但、是ハ前ニ廿日壱ツ半ヲ仕舞申用意也、是より<sup>ナ</sup>ノ元し<sup>ナ</sup>か

り申候

上<sup>ナ</sup>五<sup>ナ</sup>ツ 五<sup>ナ</sup>ツ 五<sup>ナ</sup>ツ 五<sup>ナ</sup>ツ 五<sup>ナ</sup>ツ

上<sup>ナ</sup>五<sup>ナ</sup>ツ 五<sup>ナ</sup>ツ 五<sup>ナ</sup>ツ 五<sup>ナ</sup>ツ 五<sup>ナ</sup>ツ

如此ニいたし申候 前作り

そへ 廿五日めニかけ、十ノ十六より壱ツ半、十一月五日迄廿

日ニ卅しまい、それより壱ツヲ十一ノ廿三日迄十八、以

上<sup>ナ</sup>四<sup>ナ</sup>拾<sup>ナ</sup>八、あけ口<sup>ナ</sup>廿<sup>ナ</sup>三<sup>ナ</sup>日<sup>ナ</sup>め

たり 拾<sup>ナ</sup>太<sup>ナ</sup>八<sup>ナ</sup>步<sup>ナ</sup>程

そへ 壱石 くミ水 一石六斗

仕舞水 貳石四斗

かうし 貳石 未迄ハ壱石九斗ニして仕舞、四石壱斗、申より

貳石、食四石

元 十ノ十二日より かうしも食も元より上白也

そへ 十一月廿一日より、但四十日目ニそへ、十一月廿四日

より正四日迄壱ツ仕舞、以上<sup>ナ</sup>四<sup>ナ</sup>十<sup>ナ</sup>元<sup>ナ</sup>作り

そへ 壱石 くミみず 壱石六斗

仕舞 二石壱斗

かうし 貳石貳斗

あけ口 卅五日目ニあけかゝり、四十日目ニ仕舞申候、但二月

五六日頃より二日おしいたし申候

たり 十<sup>ナ</sup>太<sup>ナ</sup>四<sup>ナ</sup>步<sup>ナ</sup>程

春 正月五日より正廿六日迄以上廿<sup>ナ</sup>式

水もかうしも前作同前

あけ口 四十日め、あけ仕舞、卅六七日め迄ニおいこし申候、

尤皆二日おし也

大春 二月四日より八日迄、以上五<sup>ナ</sup>ツ

水もかうしも同前

あけ口 廿五日也

元数合百十五

元禄六年酉ノ秋冬酒

九月朔八日ま

一新酒元 八月廿九日初、九ノ十一日ニそへ、十三日目、合廿四元

そへ 壺石 水 壺石

くミ 式石 水 一石六斗

仕舞 四石 水 式石四斗

しやうちう、壺本へ壺太半、 $\times$ 十八太

かうし 一石八斗

あけ口 十四五日

前作 元 九月廿九日元初、九ノ節十日まへ也

そへ 十ノ廿五ノそへ、廿六日め、しやうちう以上二四太

そへ水 壺石 但、八ツ分へハ一斗ノ食入不申候

くミ水 一石六斗

仕舞水 式石四斗

食は美作はかり遣申候故当年老年はかり四石壺斗、以上四

十四元

かうし 式石

丙 十二月十三日より正月十七日迄、以上三十八

そへ水 一石

くミ水 一石六斗

仕舞水 式石壺斗 食 四石

かうし 式石式斗

春 正十七日より二ノ十三日迄、以上廿六

そへ水 壺石

くミ水 一石六斗

仕舞水 式石四斗 食 四石式斗

かうし 式石

あけ口 三十五日めニ上ケ仕舞

戌・亥・子・丑・寅・卯・辰・巳

右八年之間之書留見へ不申候

元禄十五年午ノ冬酒

頭司 利右衛門

一前作拾五 元、九月十八日三元初、十月十四日より壺ツ仕舞

元 六斗 かうし 式斗 水 六斗六升

丙 中 式石 かうし 水 一石六斗

そへ 壺石 かうし 水 壺石

仕舞 四石 かうし 水 式石四斗

以上二石九斗

丙 五ツ 右前作りと水もかうしも同前

丙 廿元分 かうし式石ニ致候

水式石四斗

丙 拾ヲ 元水、そへ、かうし同、水右同断

かうし式石壺斗

水式石壺斗

丙 五拾壺 十一月廿九日より正月廿七日迄、壺ツ仕舞ノ内き

れ申候

そへ・中・元、かうし・水同前

惣かうし一石九斗

仕舞水貳石四斗

右之内三百太余火入

但、極月末頃より仕舞ノ分ニ当ル

元惣ノ百壹元

但、元ノ

元禄十六年末ノ秋より申ノ春迄酒

頭司 利右衛門

一元 九月廿三日 立冬五日前半切六ツ

かうし 貳斗 食 六斗 水 六斗六升

そへ

十月十三日、廿日  
水 壹石 食 壹石

くミ 食 貳石 水 一石六斗

仕舞 食 四石 水 貳石四斗

かうし 一石八斗 一廿九元、焼酒入

一十一月十一日より 一廿仕舞

水 貳石四斗 かうし 一石九斗

卅貳元 焼酒貳元へ片馬ツ、

一十二月十五日より 一廿、廿四日迄、以上拾ヲ

水 貳石貳斗 かうし 貳石貳斗

しやうちう貳元へ片馬

一十二月廿五日より 一廿、廿九元 正月廿二日迄

水 貳石四斗 かうし 壹石九斗

はたか樽貳十貫 蕨こも壹貫ツ、

右之内百五十太余り火入、三印共ニ

はい 壹元へ三升ツ、但火入申分へハしやうちう不入

宝永元年申ノ冬酒

頭司 利右衛門

一前 一廿 九月廿四日元 糶三日居ニして四ツツ、出目ノ

〇十月十六日ニそへ、廿三日目

〇十ノ十九より壹つ仕舞、霜七迄 十八

〇からうす六ツ 〇糶・そへ・中、以上五石六斗 地米

〇糶 一石八斗 〇仕舞四石 広嶋

〇水 貳石四斗

一十一月八日より極七迄 三十

〇からうす六ツ 上白

〇地米之内仕舞へ四石 田舎

〇糶 一石九斗 地米

〇水 貳石四斗 是迄買廿貫、こも壹貫、惣かけ廿一貫より三百匁迄

〇こも多候ハ悪敷候、明年ハこもなりあいニ可致哉

寒作り 一極月八日より 一廿 極廿九日迄 貳十貳

からうす五ツ、或ハ四ツ半 上々白

皆地米 糶 貳石貳斗

水 貳石貳斗

貫目 まき繩共貳十貫四百、七升五合と見へ申候

春作り  
一正月朔日 ㊦

宝永貳年酉ノ秋

頭司 利右衛門

㊦ 八月十日ニ元、ひかんへ入五日目

式十元 三ツ四ツ三ツ四ツ式ツ四ツ、如此ニ二日めくニ致候

八月廿四日ニそへ

そへ 壱石 水 壱石

くミ 式石 水 一石六斗

仕舞 四石 水 式石四斗

かうし 壱石九斗

あま口故しやうちう打込

たり

㊦ 九月二十一日元初、立冬也、五七日遅ク候

十月十八日ニそへ

そへ水 壱石

くミ水 一石六斗

仕舞水 式石四斗

かうし 式石

三十元

㊦ 霜月廿日頃より百太

十元程

そへ水 一石

くミ水 一石六斗

仕舞水 式石四斗 ㊦同前

かうし 式石 但、㊦と同前、米随分白ク致候、米ハ大方筑前

㊦ 極月朔日より 式十元

そへ水 壱石

くミ水 壱石六斗

仕舞水 式石壱斗

かうし 式石式斗

㊦ 極月廿日頃より 三十元

そへ水 壱石

くミ水 壱石六斗

仕舞水 式石四斗

かうし 式石壱斗、

㊦ 正月廿日頃より二月十日頃迄、ひかん一日前也

そへ水 壱石

くミ水 一石六斗

仕舞水 式石四斗

かうし 式石壱斗

三十元

内百七八十太跡ノ分火入

㊦・㊦・㊦・㊦、元数合百四十元

㊦ 冬壱本、春六本

しやうちう十石 もち小升拾石五斗  
かうし小升三石五斗ツ、  
樽貫目 正味貳拾一貫五百ツ、二詰

宝永三年戌ノ秋 頭司 利右衛門

〔 廿五元 八月十六日二元、ひかん一日前  
四ツ四四四三三三如此一日はさミ

そへ 壺石 水 壺石  
くミ 貳石 水 一石六斗  
仕舞 四石 水 貳石四斗  
かうし 壺石九斗

〔五 三十八元 九月十五日元初、十月十日添はしめ

添水 壺石  
くミ水 壺石六斗  
仕舞水 貳石四斗  
かうし 貳石

右三十八元ノ内貳十元〔五仕舞同前、米白クシテ

〔五 三十元 十月二日元初、十一月廿八日仕舞初

添水 壺石  
くミ水 壺石六斗  
仕舞水 貳石壺斗  
かうし 貳石貳斗  
右三十元ノ内十五元ハ

水 同前  
仕舞 同前  
かうし 貳石三斗

〔五 五拾貳元 十一月十日元初

添水 壺石  
くミ水 壺石六斗  
仕舞水 貳石四斗  
かうし 貳石壺斗

右五十貳元ノ内廿貳程、〔五内百六十太程火入

〔五・〔五・〔五、元数合百四十五元

〔五 冬壺本、春六本、〔七本  
しやうちう 十石

もち 拾石五斗  
糍 三石五斗

樽貫目 正味貳十一貫五百ツ、二詰メ、包テ廿貳貫五六百有

亥・子、此兩年之書留見へ不申候

宝永六年丑ノ秋 頭司 平兵衛

〔 三十元 八月廿六日元初、九月節より八日前

九月十六日より仕舞 米 六斗  
かうし 貳斗  
水 六斗六升  
水そへ 壺石 中 壺石六斗 仕舞 貳石四斗

丁 廿五元 九月廿一日元初、九月節より十五日前  
水六斗六升、糍式斗、米六斗

かうし 式石壹斗

水仕舞 式石四斗

丙 廿五元 かうし 同前 水 式石三斗

乙 廿五元

糍 式石式斗

仕舞水 式石式斗

寅ノ年ノ造り方ノ書留見へ不申候

正徳元年卯秋酒

頭司 平兵衛

元三十四 八月十四日ニ致、彼岸ニ入三日目

添 水 米 壹石  
かうし 三斗 八月廿六日、十三日目、余程遅ク候

中 水 白米 一石六斗  
かうし 六斗 式石

仕舞 水 米 式石四斗  
かうし 四石 壹石

かうし、以上壹石九斗 但、元糍ハ外也  
八月廿九日

あけ口 九月十一日、十二日目

しやうちう 一元へ片馬ツ、上タニ出来

但、味醂水之しやうちう新糟ハひかへ取焼ノ帳ニ有

たり 拾太六歩

米 秋田九十八石

筑前古五十石

尼古米式十石 但、元米

はりま新八十五石

地廻り新、美作新、武部新買

凡古米半分ませニ參候

樽之買目 はたか式十貫匁

丁 三十五元 九月十三日元初、立冬より十四日前

添 水 一石  
かうし 三斗 十月五日、廿三日目

中 水 一石六斗  
かうし 六斗

仕舞 水 式石四斗 十月八日  
かうし 一石壹石壹斗

水 水 五石

かうし 式石

あけ口 十月廿七日上ケ、廿日目

しやうちう壹元へ凡片馬ツ、

たり拾一太

樽買目 はだか式十貫式百匁

丙 拾七太片馬 十一月五日より仕舞

添 水 九斗五升  
かうし 三斗

中 水 一石六斗  
かうし 六斗

仕舞 水 貳石三斗  
かうし 一石貳斗

右之内貳元半ハ仕舞水貳石四斗クミ

但、壹斗多ク致見申候、此貳元半ノ酒焼酎不入、上繩もち

リニ致下シ申候

右壹元へしやうちう凡片馬ツ、

丙 三十七元 十一月廿一日より仕舞

添 水 九斗五升  
かうし 三斗

中 水 一石六斗  
かうし 六斗

仕舞 水 貳石貳斗  
かうし 一石三斗

あけ口 十二月廿日ニ上ケ、廿九日目

しやうちう 壹元へ三斗ツ、

樽貫目 はたか貳十貫四百匁、去年何と致候哉、如此ノ由故致候、貳百匁ハ巻繩ノ目ニ多候か

丙 貳十元 十二月廿四日より辰正月十二日迄

仕込 冬ノ丙同前

正徳元年卯ノ冬

正徳元年辰ノ冬

右兩年今在家ニ而出造り致ス

正徳元年辰ノ秋

頭司 平兵衛

三十元 八月廿四日ニ元致ス、彼岸ニ入候て二日目

添 水 九斗五升  
糶米 壹石 三斗 九月七日、十四日目

中 水 一石六斗  
糶米 貳石 六斗

仕舞 水 貳石四斗  
糶米 四石 一石 九月九日

糶、以上一石九斗 但、元糶ハ外也

あけ口 九月廿一日ニ上ケ、十二日目

しやうちう 替り酒へも能酒ニも一元へ七歩半ツ、入ル、替り酒ニハ一樽へ貳升ツ、右ノ外ニ敷しやうちう入ル

米 秋田二百石

津山古廿石

尼古米貳十石 但元米也

はり新米廿石

樽貫目

丁 廿四元半 九月廿四日元初、立冬より十三日前

添 水 九斗五升  
糶 貳斗八升五合 十月廿一日、廿七日目

中 水 一石六斗  
糶 五斗七升

仕舞 水 貳石四斗  
糶 一石壹斗四升五合 十月廿四日

水 四石九斗五升

こうしめ石

あけ口 十一月十三日より上ケ、十九日目

しやうちう 惣高七石五斗三升、壹元へ三斗七合三勺五才ツ、二当ル

たり

樽貫目 はたか廿貫貳百匁ツ、

月 廿三元

添 水 九斗五升  
糶 三斗

中 水 一石六斗  
糶 六斗

仕舞 水 貳石三斗  
糶 一石貳斗

水 四石八斗五升

糶 貳石壹斗

しやうちう 一元へ三斗五升才ツ、

正徳三年巳秋

卅六元 八月十日二元致、彼岸ノ明キノ日也

頭司 平兵衛

添 水 壹石  
糶 斗七升三合三勺

八月廿四日、十四日目

中 水 貳石  
糶 五斗四升六合六勺

仕舞 水 四石  
糶 一石九升三合貳勺

八月廿七日

糶 一石九斗一升三合壹勺 但、元糶ハ外也

あけ口 九月十一日ニ上ケ、十三日目

しやうちう 一元へ片馬ツ、

たり 十太六歩

米 古姫路 八十石

秋田 七十五石

地新米 七十五石

田舎新米 九十石

但、姫路、はりま、津山、広嶋

貫目 はたか貳十貫貳百匁

風袋八百匁

皆掛ケ貳十一貫目

日 三十元 九月十一日元初、立冬より八日前

添 水 十月十日  
糶 斗八升五合 廿九日目

中 水 五斗七升

仕舞 水 一石壹斗四升五合 十月十三日

水 糶 貳石

あけ口 十一月二日ニ上ケ、廿日目

しやうちう 元六ツへ貳石壹斗、一元へ三斗五升ツ、二当ル、

残テハ打込なし

たり 十太六歩



樽貫目 はたか式十貫式百匁

風袋八百匁

皆掛ケ式十一貫目

三 十九元

正徳四年午ノ秋

頭司 平兵衛

式十元 八月晦日二元致ス、彼岸より十五日後也

添 水 九斗五升  
米 壺石 三斗

九月十四日、十五日目

中 水 一石六斗  
米 式石 六斗

仕舞 水 式石四斗  
米 壺石 四石

九月十七日

糶一石九斗 但、元糶ハ外也

あけ口 十月二日ニ上ケ、十五日目

しやうちう 一元ハ四斗ツ、

たり 拾太六歩七半

地古米廿四石五斗

秋田四十一石

姫路口新五十石

地新米六十一石五斗

貫目 はたか式十貫式百匁

式十一貫目皆掛ケ

五

正徳五年末ノ秋

頭司 平兵衛

四十元半 八月廿七日二元致ス、彼岸ノ入り元

添 水 九斗五升  
米 壺石 三斗

九月九日、十三日目

中 水 一石六斗  
米 式石 六斗

仕舞 水 式石四斗  
米 壺石 四石

九月十二日

糶一石九斗 但、元糶ハ外也

あけ口 九月廿二日ニ上ケ、十日目

しやうちう 一元ハ片馬ツ、

内式元ハ打込なし

たり 十太六歩

地古米 十石

秋田 六十九石五斗

地新 八十七石

はりま新 百五十石、但姫路口也

備前古米 式十石

貫目 はたか式十貫式百匁

風袋八百匁

式拾一貫目皆掛ケ

一ノ糶石九斗

二ノ糶式石 仕舞水式石四斗

三ノ糶式石壹斗 仕舞水式石三斗

四ノ糶式石式斗 仕舞水式石式斗

五ノ米

式百五十石 地米

但、富松・天津蔵米・きしへ・熊野田・中村・岡山・米谷・

豊後様・東わき

五十石 田舎米

但、備前・家老備前

享保元年申ノ冬酒

頭司 平兵衛

五 六十五元 九月十一日元初、立冬より十二日前

添 水 九斗五升 九月廿九日、十八日

中 水 一石六斗 六斗

仕舞 水 式石四斗 壺石壹斗 十月二日

水 四石九斗五升

糶 式石

あけ口 十月十七日ニ上ケ、十六日目

しやうちう 一元へ三斗ツ、

たり

樽貫目 廿貫式百匁はたか

八百匁 風袋  
ノ廿壺貫目

六 四十五元

添 水 九斗五升 糶 三斗

中 水 一石六斗 六斗

仕舞 水 式石三斗 一石壹斗 十一月六日

去年迄ハ水式石三斗、糶二石式斗ニ而候へ共、当年ハ水八斗より一斗減シ式石三斗、糶ハ其俣「五」と同前一石壹斗ツ、ニ致候

水 四石八斗五升 糶 式石

七 三十元 十月十七日元初

十二月廿四日

添 水 九斗五升 糶 壺石 三斗 卅八日目

中 水 一石六斗 式石 六斗

仕舞 水 式石式斗 四石 一石式斗 十一月廿八日

糶 式石壹斗 但、元糶ハ外也

水 四石七斗五升

あけ口 十二月廿九日ニ上ケ、卅一日目

しやうちう 一元へ三斗三升ツ、

たり

樽貫目 はたか式十貫四百匁 風袋ハ見合なり

申ノ十一月廿四日 月ノ米

地米と田舎米と遣分ケ之覚

式石 粍斗 粍

壹石 添

貳石 中

ノ五石 壹斗 一ツ半仕舞

此米七石六斗五升

内一石五斗 地米遣申筈

ノテ六石 壹斗五升 田舎之筈

仕舞 四石 壹ツ半仕舞

此米六石 地米

又壹石五斗 口ノ地米

ノ七石五斗 地米遣申筈

享保貳年丁酉酒造

頭司 又兵衛

一新元四十 八月十八日元初、彼岸より一日前

但、粍ニ黒ミ有少なまはぜ甘ミ無數、先ハ出来損シ也、先年

も黒粍出来ニテ掛ケ米・粍ニハ遣イ別状なく候得共、元

ニハ如何、同敷ハ粍致替度候へ共日限延売口不勝手と存、

両家分十ヲノ粍ヲ六ツニ減シ、内式ツ分色能候ヲより出

し出見せ之元ニ致、残り四ツヲ本家ノ元ニ致シ、残り粍

ハ塩打合味噌粍ニ致候、何分粍ノ勢甘ミ無數見へ候故、

一元ニ壹斗多ク遣申候、出見せ分粍能候故定リ之通遣申

候、元出来口黄花無之候故、殊之外白ク甘ミ無數、水ク

さき様ニ覚申候へ共、さのミ惡敷事も見へ不申候故添掛

ケ仕舞候へハ無別条出来申候

一<sup>（貼リ紙）</sup>戌ノ秋津山ノ古米可有候、から口ニ出来ニテ能可有候事

一あいノ物ニ古米致候へハ風味手厚ク聞へ、殊ニ新米ノ性過

むせ不申候、氣遣無之能候、尤足之氣遣も無之時分ニ候、

戌ノあい物ハ古米遣可申候、秋田下直ニ候ハ、是も可然候、

あいノ物ハ手厚ク甘口不善候、正直過て輕ク手薄ハ春売ニ

惡敷候、且又初送りハ人寄せノためニこく致申方有之由、

是ハいかゝ了簡可有候

米 六斗 水 六斗 粍 貳斗

但、右ノわけ故外ニ壹斗多ク入レ申候

八月廿九日、十二日 添 米 壹石 水 九斗五升 粍 三斗

中 米 貳石 水 一石六斗 粍 六斗

仕廻 米 四石 水 貳石四斗 粍 一石

九月二日より仕舞 右元米ハ地古米・備前古米、掛ケ米ハ津山古米・秋田、仕舞は

新米也

貫目 はたか式十貫貳百、皆掛ケ廿一貫目より式三百匁迄、

「印 打込 壹元へ片馬ツ、

あけ口 九月十三日、但十二日

すましはい もろみ壹元へ貳升ツ、

詰口 中一日すまし

たり 十太五歩五りん

五 三十元 九月十三日二元致ス、立冬より廿日まへ

添 水 一石 米 壹石 糶 三斗

十月四日、廿二日目

中 水 一石六斗 米 貳石 糶 六斗

仕廻 水 貳石四斗 米 四石 糶 一石壹斗  
十月七日より仕舞、但「印と間十四日切り

糶 貳石 但、元糶ハ外也

あけ口 十月廿五日ニ上ケ、十九日目

しやうちう 一元へ片馬ツ、

たり

四 四十五元 是より三所かけニ致ス

添 水 一石 米 壹石 糶 三斗

中 水 一石六斗 米 貳石 糶 六斗

仕廻 水 貳石三斗 米 四石 糶 一石壹斗

糶 貳石 但、元糶ハ外也

あけ口 十一月廿一日、廿六日目

しやうちう 一元へ片馬ツ、

たり

三 三十元 三所かけ、十月廿二日二元致ス

添 水 一石 米 壹石 糶 三斗

中 水 一石六斗 米 貳石 糶 六斗

仕廻 水 貳石壹斗 米 四石 糶 一石貳斗  
十一月廿八日より仕舞、寒より七日前

糶 貳石壹斗 但、元糶ハ外也

あけ口 十二月廿三日ニ上ケ、廿五日目

糶・添・中地米、仕舞田舎

しやうちう 壹元へ片馬ツ、

たり

三 三十元 寒ノ前三所かけ、寒ノ後三所かけノ上もしり

添 水 九斗五升 ○米 壹石 ○糶 三斗

中 水 一石六斗 ○米 貳石 ○糶 六斗

仕舞 水 貳石三斗 ○米 四石 ○糶 一石壹斗

十二月十九日より、戌正月七日より水五升扣、仕舞水貳石貳斗五升  
ニ成、但江戸より寒前ノ只うすく候由申来り如此ニ候

打込 壹元へ片馬ツ、

糶 貳石 但、元糶ハ外也

あけ口 正月十六日より、廿七日目

たり

貫目

五 拾九元半 一筋ノ三所かけ

添 水 一石 ○米 壹石 ○糶 三斗

中 水 一石六斗 ○米 貳石 ○糶 六斗

仕舞 水 貳石三斗 ○米 四石 ○糶 一石壹斗

正月十日より  
糶 貳石 但、元糶ハ外也

あけ口 二月五日より、廿六日目

たり

貫目

打込なし、火入レ

はい 一元へ一升ツ、入ル

享保三年戊戌酒造

頭司又兵衛

〔 五十三元 八月廿八日元初、彼岸より一日前

元 米 六斗 水 六斗 糶 式斗

添 米 九月十日、十二日 米 壹石 水 壹石 糶 三斗

中 米 貳石 水 一石六斗 糶 六斗

仕舞 米 九月十三日より 米 四石 水 貳石四斗 糶 一石

右元米ハ古備前、掛ケ米ハ古筑後・古筑前・古津山、仕舞ハ古蔵秋田也

貫目 はたか

打込 一元へ片馬ツ、

あけ口 九月廿二日、十日目

貫目 はたか貳十貫貳百匁

右当年新酒古米ニ而致候へハ風味こく、はりも能、先上々と相見へ候、然共甘口ニ候、松屋・紙屋も同前、丸九・天半・清水屋ハにがミ有之うすく甘味なし、下酒、稲寺屋ハ甘味なし、こく上々、是等ハ了簡致候ニ甘味無之、造り様も一通り有之事と存候、重而可尋候、先秋田遣不申候ハ、大方甘味除キ可申候、

来年ハ秋田相止、外ノ古米可然候、若外ノ古米無之候ハ、能むせ申新米ニ成共可致候、稲寺屋・天半も秋田少も遣不申候

〔五 貳十五元 十月朔日ニ元致ス、立冬より十三日前

添 米 一石 水 一石 糶 三斗 十月廿日、廿日目

中 米 一石六斗 水 貳石 糶 六斗

仕舞 米 貳石四斗 水 四石 糶 一石壹斗 十月廿三日より仕舞印と間十五日切り

内、初而五元ハ水貳石三斗ニ致ス、外ノ事ハ同前

糶 貳石 元糶ハ外也

あけ口 閏十月十一日、十八日目

たり

貫目 はたか貳十貫貳百

しやうちう 一元へ片馬ツ、

元米・元糶古備前、掛ケ米ハ秋田・新津山・新備前、地新米も少入ル

〔六 四十元 是より三所かけニ致ス

添 米 一石 水 一石六斗 糶 三斗 中 米 貳石 水 六斗

仕舞 米 貳石三斗 水 四石 糶 一石貳斗 閏十月十四日より

糶<sup>ズ</sup>式石壹斗 但、元糶ハ外也

あけ口 十一月四日より上ケ、廿日目

しやうちう 一元へ片馬ツ、

たり

實目 はたか式十貫三百匁ツ、

米遣方 凡地米百六十五石 四歩半

備前田舎式百石 五歩半

卅 三十元 三所、閏十月廿五日元致ス

添 水 一石  
糶 米 三斗  
十二月十日、四十四日目

中 水 一石六斗  
糶 米 式石六斗

仕舞 水 式石壹斗  
糶 米 四石  
一石三斗  
十一月十六日、寒より廿日前

元米ハ備前ときしへと年貢  
掛ケ米ハきしへ・備前・稻寺米

糶<sup>ズ</sup>式石式斗 但、元糶ハ外也  
あけ口 十二月十四日ニ上ケ、廿八日目

しやうちう 一元へ片馬ツ、  
實目 はたか式十貫四百匁ツ、皆掛式十一貫式三百

上白きね数式千一式百、白数四ツふミ

卅 十元 三所下銀り

添 水 一石  
糶 米 三斗  
中 水 一石六斗  
糶 米 式石六斗

仕舞 水 式石三斗  
糶 米 一石式斗  
十二月十一日より

糶<sup>ズ</sup>式石壹斗 但、元糶ハ外也

あけ口 正月四日より、廿四日目

火入レ、打込なし

はい 一元へ式升ツ、

卅 三十元 三所ノ壹筋かけ

添 水 一石  
糶 米 三斗  
中 水 一石六斗  
糶 米 式石六斗

仕舞 水 式石四斗  
糶 米 一石壹斗  
十二月十九日より

あけ口 正月十二日より、廿四日目  
火入レ・打込なし

はい 惣高式斗式升五合、一元へ一升壹合式勺五才ツ、二当ル

池田満願寺屋酒之法

元水 六斗六升

添水 一石六斗

仕舞水 式石

元米 六斗

添米 壹石  
中米 貳石  
仕舞 四石

右ハ享保三年戌十二月写之

一文字屋助三郎酒仕込之法

白米小判升二而十石

但、ツる八石三斗

水五十一盃半

但、小判升二而五石壹斗五升

享保四年己亥酒造

頭司 長兵衛

┌ 四十八元 八月十三日元初、彼岸ノ入りより三日目

添 水 一石  
米 一石  
糶 三斗

八月廿四日、十二日目

中 水 一石六斗  
米 貳石  
糶 六斗

日数廿一日仕舞、十日ハ貳ツ半、又十日ハ貳ツ、又一日ハ三ツ仕舞、四十八元、廿一日ニ仕廻

仕舞 水 貳石四斗  
米 一石  
糶 一石

八月廿七日より

あけ口 九月六日、九日目ニ上ケ

しやうちう 片馬ツ、凡廿八元へ  
壹太ツ、凡貳十元へ

たり

糶一石九斗 但、元糶ハ外也

すましはい すミ酒へ一元二付一升貳三合ノ積りニ入レ申候  
元米 高槻・備前・東ノ岩屋

掛ケ米 秋田・筑前・地新米・古備前・広嶋・姫路為替米

日 拾一元 下銀り、九月十二日元初、立冬より十三日前

添 水 一石  
米 一石  
糶 三斗

十月六日、廿五日目

中 水 一石六斗  
米 貳石  
糶 六斗

仕舞 水 貳石四斗  
米 四石  
糶 一石壹斗

十月九日より、┌印と間廿日切り

糶一石 但、元糶ハ外也

あけ口 十月廿六日、十八日目

たり

貫目 はたか貳十貫貳百、後ニハ貳十貫四百ツ、

しやうちう 初ハ打込なし、後五六元へ一元へ片馬ツ、

元米・元糶も地米と古備前

掛ケ米ハ地新米・姫路為替米・津山・広嶋

日 貳十九元 三所 九月廿九日

添 水 一石  
米 一石  
糶 三斗

十月廿三日、廿五日目

中 水 一石六斗  
米 貳石  
糶 六斗

仕舞 水 貳石三斗  
米 四石  
糶 一石貳斗  
十月廿六日、<sup>丑</sup>と間八日切レ申候

糶 貳石壹斗 但、元糶ハ外也  
あけ口 十一月十八日より、廿二日目

しやうちう 一元ハ片馬ツ、  
實目 はたか貳十貫四百ツ、

たり

元米・元糶 地米・古備前

掛ケ米ハ広嶋・姫路為替米・備中・津山・岸和田

<sup>丑</sup> 四十元 三所 十月十二日二元致ス

添 水 一石  
米 一石  
糶 三斗  
十一月十七日、三十六日目

中 水 一石六斗  
米 貳石  
糶 六斗

仕舞 水 貳石壹斗  
米 四石  
糶 一石三斗  
十一月廿一日より、寒より七日前

糶 貳石貳斗 但、元糶ハ外也

あけ口 十二月廿七日より、三十六日目

打込 一元ハ三斗八升ツ、

實目 はたか貳十貫四百ツ、風袋八百匁、皆掛ケ、<sup>②</sup>貳十一貫  
貳百ツ、樽巻繩百太二付四ツ宝三十匁也

たり

右不残いせこし致シ、正月廿一日より酒出し始

元ハ姫路地米・きしへ米・備前

右上白遣分ケ

糶米 皆田舎 壹ツ貳歩半分  
貳石七斗五升也

添・中 壹ツ貳歩半分之内ハ貳石田舎ヲ遣可申候

残テ一石七斗五升 地米也

仕舞五石ハ皆地米

右地 六石七斗五升

田舎 四石七斗五升

上白きね数貳千五百ツ、白数四ツふみ

樽包かゞり様 鏡ノ方十一所  
同底ノかゞり様 九所

<sup>丙</sup> 三十六元 三所 十月朔日より元致ス

添 水 一石  
米 一石  
糶 三斗  
十二月廿日より、七十九日目

中 水 一石六斗  
米 貳石  
糶 六斗

仕舞 水 貳十三はい  
米 四石  
糶 一石貳斗  
十二月廿三日より

糶 貳石壹斗 但、元糶ハ外也

あけ口 正月十九日より、廿六日目

打込 しやうちう一元ハ三斗八升ツ、但、火入ハ打込なし

下もしりハ正ノ六より廿一日迄ハ仕込ノ分、水貳十貳はいノ印也



上下もじりハ火入りノ印也

火入り 百式十太

但、当年より湯せんニハ不致候、直ニ火入レ申候

貫目 はたか式十貫四百ツ、

又八百匁風袋

皆掛ケ式十一貫式百ツ、

享保五年庚子酒造

頭司 長兵衛  
脇 権兵衛

四十八元 八月廿二日元初 ひかんノ入り元

添 水 一石  
米 一石  
糶 三斗

九月二日、十一日目

水 一石六斗  
米 式石  
糶 六斗

日数廿二日仕舞、内八日ハ式ツ半仕舞、同十四日ハ式ツ仕舞、  
仕舞 四十八元、廿二日ニ

仕舞 水 式石四斗  
米 一石

九月五日

酒あけ口 九月十六日、十二日目ニ上ケ

しやうちう打込ハ一元へ片馬ツ、凡七元程、後ハ一元へツる五斗ツ、

たり

糶 一石九斗 但、元糶ハ外也

すましはい すミ酒へ凡一元ニ一升程ツ、もろミへも一元ニ

凡一升程ツ、入ル

貫目 はたか式十貫式百ツ、

元米ハ古備前、秋田 但、なや物斗、本蔵ハ一表も買不申候

はりま新米 米一石ハ湯三升程ツ、打ぼうむしニ致候へハ成程能むせ申候

古広嶋 地新米ハ式十石斗リ

丑 拾元 十月三日ニ元致候、立冬より四日前

添 水 一石  
米 一石  
糶 三斗

十月廿五日より、廿三日目

中 水 一石六斗  
米 式石  
糶 六斗

仕舞 水 式石四斗  
米 四石  
糶 一石壹斗

十月廿八日より

糶 式石 但、元糶ハ外也

酒あけ口 十一月十七日、廿日目

貫目 はたか式十貫三四匁

打込 しやうちう一元へ片馬ツ、

繩かけ 常之通り

元米ハ新備前、掛ケ米ハ地新米小・新備前大・きしへ米中

丙 式十七

添 水 一石  
米 一石  
糶 三斗

十一月三日より

中 水 一石六斗  
米 式石  
糶 六斗

仕舞 水 貳石三斗  
米 四石  
糶 一石貳斗  
十一月六日より

糶 貳石壹斗 但、元糶ハ外也

酒あけ口 十一月廿八日、廿三日目

貫目 はたか式十貫四百

繩かけハ常ノ通り也

打込 壹元へ片馬ツ、

但、地米、田舎ノ遭分ケ之分量ハ不致候へ共、大方皆米遣申候

四十三所 十月十八日二元致ス

添 水 一石  
米 一石  
糶 三斗  
十二月朔日、四十三日目

中 水 一石六斗  
米 貳石  
糶 六斗

仕舞 水 貳石貳斗  
米 四石  
糶 一石三斗  
十二月五日より、寒より四日前

糶 貳石貳斗 但、元糶ハ外也

あけ口 正月三日より、廿九日目

打込 なし

貫目 はたか式十貫四百匁ツ、

風袋八百匁

皆掛 貳十一貫貳百匁ツ、

樽巻繩百太ニ付新十一貫貳匁ツ、

たり

右不残いせこし致ス、二月四日より酒出し始

元米ハ備前ときしへ、掛米、地米・田舎ノ分量ハ不致候、皆きしへ米ニ而候

上白きね数貳千五百ツ、白数四ツふミ

樽包かゝり様 鏡ノ方十一所  
同底ノかゝり様 九所

十五元 下銀り 十一月十日より十七日迄致ス

添 水 一石  
米 一石  
糶 三斗  
正月四日、五十四日目

中 水 一石六斗  
米 貳石  
糶 六斗

仕舞 水 貳石三斗  
米 四石  
糶 一石貳斗  
正月七日より

糶 貳石壹斗 元糶ハ外也

あけ口 二月六日、廿九日目

貫目 はたか式十貫四百匁後ツ、

打込 一元へ片馬ツ、

享保六年辛丑酒造

頭司 長兵衛  
脇 権兵衛

四十元 八月五日元初 彼岸ノ入りより三日目

添 水 一石  
米 一石  
糶 三斗  
八月十七日、十三日目

中 水 一石六斗 日数廿二日ニ仕舞、内十四日ハ式ツ仕舞、  
 糶米 六斗 八日ハ式ツ半  
 八日ハ式ツ半  
 四十元 廿二日ニ仕舞

仕舞 水 式石四斗 八月十九日より仕舞  
 糶米 九斗

酒上ケ口 九月二日より十四日目ニ上ケ  
 しゃうちう打込ハ、一元へ片馬ツ、

貫目 はたか式十貫式百匁ツ、  
 糶一石八斗 但、元糶ハ外也

但、三十四元ハ一石八斗、六ツハ一石九斗  
 はい すミ酒へ一元二一升、もろミへ一升五合ツ、入ル

元米ハ地古米・秋田、但なや物斗り也、本蔵ハ一表も買不申候  
 はりま新米、但、当年ハ能むせ申候

地ノ新米

二五 拾元 九月十三日二元致ス、立冬より四日前

添 水 一石  
 糶米 三斗 十月十日、廿七日目

中 水 一石六斗  
 糶米 六斗

仕舞 水 式石四斗 十月十三日より  
 糶米 一石  
 糶 一石巻斗

酒あけ口 十一月四日、廿式日目  
 糶一石 元糶ハ外也

貫目 はたか式十貫三百匁

縄かけ 常ノ通り也

打込 なし  
 地米、廣嶋、備前、津山、柳米も遣候へともむせ不申候ニ付、  
 白米ニ而残し置、酒ニ遣不申候

二六 三十元 三所 九月十八日二元致ス

添 水 一石  
 糶米 三斗 十月十八日、三十日目

中 水 一石六斗  
 糶米 六斗

仕舞 水 式石三斗 十月廿一日  
 糶米 一石式斗

酒あけ口 十一月十一日、廿一日目  
 貫目 はたか式十貫四百

打込 一元へ片馬ツ、  
 すましはい すミ酒壹元へ一升式合ツ、入ル

二七 四十元 九月晦日二元致ス

添 水 一石  
 糶米 三斗 十一月十一日、四十二日目

中 水 一石六斗  
 糶米 六斗

仕舞 水 式石式斗 十一月十五日  
 糶米 一石三斗

酒あけ口 十二月十四日、廿九日

貫目 はたか式十貫四百、皆掛ケ式十一貫四百匁有

打込 一元へ片馬ツ、

繩かけ 三所、樽まき不申候

元ハ尼米・きしへ米 ○掛ケ米も大方きしへ ○備前米も少々

有ル ○神呪米も少々有ル ○仕舞口ニハ池田奥米ノ能勢長重

郎様米も少有ル

上白きね数三千式三百ツ、跡白ハ三千七百も有ル

丙 十五元 下鍬り 十月廿日二元致ス

添 米水 一石 十二月十四日、五十四日

中 米水 一石六斗

米水 一石六斗

米水 一石六斗

仕舞 米水 一石六斗 十二月十七日

米水 一石六斗

米水 一石六斗

酒あけ口 正月廿日、三十四日

貫目 はたか式十貫四百匁

打込なし、火不入

甲 貳元 元ハ弔ノ元也

添 米水 一石

米水 一石 十一月廿一日

中 米水 一石六斗

仕舞 米水 一石六斗 十一月廿四日

米水 一石八斗 但、元糶ハ外也

酒あけ口 十二月廿日、廿六日

打込なし、火ハ入レ不申候

はい 一元へ式升ツ、

享保七年寅年酒造

頭司 長兵衛 脇 権兵衛

四十元 八月十五日元初 ひかん入りより三日目

添 米水 一石 八月廿六日、十二日

中 米水 一石六斗

仕舞 米水 一石六斗 日数廿二日式ツ仕舞、十四日一ツ半八日、

米水 一石六斗 四十元、廿二日三仕舞

酒あけ口 九月十一日より 十二日

しやうちう 一元へ片馬ツ、

はいハ一元へ一升式合ツ、

米水 一石八斗 但、元糶ハ外也

貫目 はたか式十貫式百ツ、

又風袋八百匁ツ、  
ノ式十一貫皆掛ニ致候

元米ハ地ノ古米・秋田 蔵表斗リ也  
納屋米ハ一表もなし

古備前

新はりま 少むせ兼申候・地新米・筑後古米

但、古米ノ元ハ古米ノかけ米、新米ノ元ハ新米ノかけ米ニ致候、ぶんくニ致し見申候

五 拾五元 九月廿一日二元致ス、立冬より八日前也

添 米 一石  
水 一石  
糶 三斗  
十月十四日、廿四日

添 米 一石六斗  
水 一石六斗  
糶 六斗

仕舞 米 一石  
水 一石  
糶 一石  
十月十七日より

酒あけ口 十一月八日、廿一日

貫目 はたか式十貫三百匁ツ、

縄かけ 常之通り

打込 一元へ片馬ツ、内四元半ハ打込なし

はい なし

元ハ地米、掛ケ米ニハ津山・広嶋・きしへ少々

三 式十五元

添 米 一石  
水 一石  
糶 三斗  
十月廿六日

中 米 一石六斗  
水 一石六斗  
糶 六斗

仕舞 米 一石三斗  
水 一石三斗  
糶 一石三斗  
十月卅日より

酒あけ口 十一月廿四日、廿五日

貫目 はたか式十貫四百匁  
打込 一元へ三斗八升ツ、但、片馬分也  
はいハ一元へ三升ツ、  
但、もろミとすミ酒へと半分ツ、

五 三十元 三所、十月八日二元致ス

添 米 一石  
水 一石  
糶 三斗  
十一月十七日、四十日

中 米 一石六斗  
水 一石六斗  
糶 六斗

仕舞 米 一石三斗  
水 一石三斗  
糶 一石三斗  
十一月廿一日、寒より九日前

十二月廿二日より酒上ケ申候、三十式日

貫目 はたか式十貫四百匁ツ、

風袋八百匁

ノ式十一貫式百匁ツ、

打込 一元へ片馬ツ、

繩かけ 三所引かけ樽巻申候、樽巻繩百太二付新  
たり

右不残いせこし致、正月十七日より酒出し始

元米ハきしへ、掛ケ米もきしへ・備前両米也、遣分ケ如左之也

添・中ハ地米・糶・備前

仕舞、半分備前・半分地米

上白きね数三千一式百ツ、跡ノ白ハ三千三四五百迄有ル、白  
数四ツふミ

樽包かゝり様

鏡ノ方  
同底ノかゝり様

はいハもろみとすましと両方へ式升五合ツ、

丙 式十元 元ハ五ノ元也

三所かけ下銀り

添 水 一石  
糶 一石  
三斗

十二月十三日

中 水 一石六斗  
糶 式石  
六斗

仕舞 水 式石三斗  
糶 四石  
一石式斗

十二月十五日

糶ノ式石粍斗 但、元糶ハ外也

酒あけ口 正月十九日より、三十四日目

貫目 はたか式十貫四百匁

打込 右之内五元へ式太半ツ、ノ打込

はい もろすみと 両方へ一元へ式斗五合ツ、  
すましと

平野町酒也 元水六斗五升  
甲 拾元 元ハ五ノ元也

添 水 一石  
糶 一石  
三斗

十二月廿八日

中 水 一石六斗  
糶 式石  
六斗

仕舞 水 式石四斗  
糶 四石  
一石粍斗

正月朔日より

糶ノ式石 但、元糶ハ外也

酒あけ口 二月十一日より、四十一日目

打込 なし

はい 一元へ三升ツ、

右之酒桶持しニ致置ク

新桶拾本 但、ろうかニ置ク  
古桶三本

ノ十三本ニ入レ置ク

卯ノ春味淋水調合ノ覚

正ノ十七ノ仕込  
大鹿 五石

手前味淋水 三石五斗

手前上々糟ノ打込 式石

ノ十石五斗 一番

大鹿 五石

手前間ノ物ノ打込 式石五斗

新酒打込 三石

ノ十石五斗 二番

大鹿 式石式斗

手前上々糟ノ打込 式石

鴻池 三石五斗

天津 式石八斗

ノ十石五斗 三番

大鹿 式石

手前上々糟ノ打込 五石

鴻池 三石五斗

ノ十石五斗 四番

手前上々糟ノ打込 四石

鴻池 三石

天津 三石五斗

ノ十石五斗 五番

鎗屋分

享保貳年丁酉年酒造

但、ノ印ハ長兵衛造ル、全ノ印より長兵衛ハ本家へ  
ノ利右衛門造ル

頭司

利右衛門  
長兵衛

ノ十元 八月十八日ニ致ス、彼岸より一日前

添水 一石 ○米 一石 ○糶 三斗  
八月卅日、十三日

中 水 一石六斗 ○米 式石 ○糶 六斗

仕舞 水 式石四斗 ○米 四石 ○糶 九斗  
九月三日より

糶ノ一石八斗 但、元糶ハ外也

あけ口 九月十四日ニ上ケ、十二日目

水ノ五石

但、洗水ハ其俣出見セノ水、酒ノ水ハ本家ノ水也、毎日ハこ

び申候

元糶ハ備前と津山ノ古米

元米ハ津山ノ古米

掛ケ米ハ筑後ノ古米と新米、商備前と地之新米と也、但、仕舞

斗リへ新米つかい申候

すましはい もろミへ一元へ式升ツ、入ル

しやうちう 一元へ三斗八升ツ、

たり 十太五步七半

貫目 はたか甘實式百、皆掛ケ式十一貫目

全 三十元 九月十日ニ元致ス、立冬より三日前

添水 一石 ○米 壹石 ○糶 三斗  
十月二日、廿二日

中 水 一石六斗 ○米 式石 ○糶 六斗

仕舞 水 式石三斗 ○米 四石 ○糶 一石壹斗  
十月五日より

糶貳石 但、元糶ハ外也

あけ口 十月廿四日ニ上ケ、廿日目

水 四石九斗 洗水も酒ノ水も其俣出見せノ水也

元米ハ地新米

掛ケ米ハ姫路と秋田廿石と

貫目 はたか貳十貫三百匁、風袋ハ見合

打込ハ凡半分程致候へ共、打込不致候方能相聞へ申候故、打込止メ申候

全 三十元 十月五日元致ス

添 水 一石 〇米 一石 〇糶 三斗  
十一月十二日、廿八日目

中 水 一石六斗 〇米 貳石 〇糶 六斗

仕舞 水 貳石一斗 〇米 四石 〇糶 一石貳斗

十一月十五日より、右之内元十ヲ斗リハ仕舞水貳石、則此分中おどる糶も少花ヲ付ケ申候、但、惣躰酒うすく、あじわい

無数候故指而悪敷事も無之候へ共、来年之心見ノため如此致

見申候、其心印ニ下繩もじり、其外ハ同前

地米半分・備前半分

あけ口 十二月九日ニ上ケ、廿四日目

糶貳石壹斗 但、元糶ハ外也

水 四石六斗 洗水も酒ノ水も其俣出見せノ水斗

貫目 はたか廿貫四百匁、皆掛ケ十一貫貳百より廿一貫三百

匁迄

打込 なし、惣躰酒うすく、からく、にかく聞へ候故、打込致

候へハ猶以酒ニいじ出申候、しやうちう相不申候故、打込不致候

全 廿九元 十一月八日三元致ス

添 水 九斗五升 〇米 一石 〇糶 三斗  
十二月廿四日、四十六七日目

中 水 一石六斗 〇米 貳斗 〇糶 六斗

仕舞 水 貳石四斗 〇米 四石 〇糶 一石壹斗

十二月廿八日より仕舞、但、全仕舞水戌正月九日より壹斗扣 貳石三斗ニ成ル、但、江戸より酒うすく候由、段々申来り候故、何之了簡も無之候へとも、無利ニ壹斗扣申候

あけ口 正月廿六日より上ケ、廿七日目

糶貳石 水 四石八斗五升

洗水も酒之水も出見せノ井戸水也

貫目 廿貫三百匁、風袋見合、皆掛ケ

打込なし、火入レ

初八十太斗リ火入レ不申候、後百廿太斗リハ火入レ申候、はい壹元へ一升ツ、火入レ申分下もしり、火入レ不申候分上もしり

享保三年戌戌酒造

頭司 長兵衛

全 三十元 八月廿八日二元致ス、彼岸より一日前

添 水 一石 〇米 一石 〇糶 三斗

九月十日、十二日目



中 水 一石六斗  
糶 米 六斗

仕舞 水 貳石四斗  
糶 米 一石

九月十三日より

糶 一石九斗 但、元糶ハ外也

あけ口 九月廿二日ニ上ケ、十日目

すましはい すミ酒へ船一艘分ニ六合程ツ、入レ申候、然ハ船

壳艘分ノもろミ凡元一ツ分ノ七歩程也、然ハ一元

ニはい七合八勺程ツ、

水 五石

但、洗水ハ其俣出見セノ水、酒ノ水ハ本家ノ水也、毎日ハこ

ひ申候

元糶ハ古備前 元米も古備前

掛ケ米ハ、筑後・筑前・津山

但、仕舞斗リへ蔵秋田遣申候

しやうちう 一元ハ片馬ツ、

たり

貫目 はたか貳十貫貳百ツ、

全 三十元 十月朔日元致ス、立冬より十三日前

添 水 一石  
糶 米 一石  
三斗

十月廿日、廿日目

中 水 一石六斗  
糶 米 六斗

仕舞 水 貳石三斗  
糶 米 一石貳斗

十月廿三日より

糶 貳石壹斗 但、元糶ハ外也

あけ口 閏十月十三日、廿日目

しやうちう 一元ハ片馬ツ、

たり

貫目 貳十貫三百匁はたか

元糶・元米ハ古備前、掛ケ米ハ秋田・古備前・新津山、後ニハ

新備前・地新米も貳三十石も入り申候

全 三十元 十月十六日元初、閏十月十五日迄ニ元仕舞

内三十太斗リ下綴リ、是ハ跡ニ而少甘口ノ心印也

添 水 一石  
糶 米 一石  
三斗

閏十月廿七日、四十一日目

中 水 一石六斗  
糶 米 六斗

仕舞 水 貳石貳斗  
糶 米 一石三斗

十一月朔日より

十一月十一日より水貳石一斗ツ、

元米ハ津山・備前、掛ケ米ハ備前・きしへ

あけ口 十二月朔日ニ上ケ、三十日目

糶 貳石貳斗 但、元糶ハ外也

水 四石八斗

但、洗水ハ出見世ノ水也、酒ノ水ハ本家ノ水也

貫目 はたか式十貫四百匁、皆掛ケ式十一貫四百匁  
打込 四石四斗 但、式元へ四斗ツ、

全 拾五元 下銀り

添 米水 一石  
糶 三斗  
十二月十二日より

中 米水 一石六斗  
糶 六斗

仕舞 米水 式石三斗  
糶 四石  
一石式斗  
十二月十五日より

あけ口 正月十一日より、廿五日目

糶 式石壹斗 但、元糶ハ外也

樽貫目 はたか式十貫三百

火入レ申候、打込なし

はいハもろみへ式元へ三升ツ、

享保四年亥秋酒造

頭司 利右衛門  
又兵衛

八 四十九元 八月十一日元初 彼岸入りノ日也

添 米水 一石  
糶 三斗  
八月廿一日、十二日目

中 米水 一石六斗  
糶 六斗

式ツ仕舞十日  
式ツ半七日  
一ツ仕舞一日  
一ツ仕舞一日  
廿五日ニ仕舞

仕舞 米水 式石四斗  
糶 一石  
八月廿五日より

糶 一石九斗 但、元糶ハ外也

あけ口 九月五日、十一日目

しやうちう 廿四元へ凡片馬ツ、

たり

貫目 はたか式十貫式百ツ、

全 十元 下銀り 九月十一日元初、立冬より十四日前

添 米水 一石  
糶 三斗  
十月七日、廿七日目

中 米水 一石六斗  
糶 六斗

仕舞 米水 式石三斗  
糶 四石  
一石式斗  
十月十日より仕舞、八と間十九日切り

糶 式石壹斗 但、元糶ハ外也

あけ口 十月廿七日、十九日目

たり

貫目 はたか式十貫三百、後ニハ式十貫四百ニ致ス

元糶・元米 姫路為替米・地米

掛ケ米ハ地米大・姫路為替米中・津山・備前・足森小

全 式十八元 九月晦日

添 米水 一石  
糶米 一石  
三斗  
十月廿一日、則廿一日目

中 米水 一石六斗  
糶米 六斗  
式石

仕舞 米水 式石三斗  
糶米 四石  
一石式斗  
十月廿四日より、前ノ全と六日切レ申候

あけ口 十一月十八日、廿四日目  
しやうちう 後十五元へ一元へ片馬ツ、

實目 はたか式十貫四百ツ、  
たり

元糶・元米、姫路為替米と地米と  
掛ケ米ハ広嶋・姫路為替米中・備中・津山・備前・岸ノ和田

全 五十元 十月八日より元致し、十一月三日迄

添 米水 一石  
糶米 三斗  
十一月十二日より十二月廿七日迄、三十五日目

中 米水 一石六斗  
糶米 六斗  
式石

仕舞 米水 式石壹斗  
糶米 四石  
一石式斗  
十二月廿八日

あけ口 正月廿八日より上ケ、三十日目  
打込 なし

右之内百五十太火入レ、尤直ニ火入レ申候、下銀ニ致ス  
糶式石壹斗 但、元糶ハ外也

實目 はたか式十貫四百ツ、  
又八百匁風袋

式十一貫式百皆掛ケ也

享保五年庚子酒造

頭司 利右衛門  
脇 山本五兵衛

八 四十六元 八月廿一 ひかんノ入り元

添 米水 一石  
糶米 三斗  
九月三日、十二日目

中 米水 一石六斗  
糶米 六斗  
式石  
日数廿三日ニ仕舞  
始終式ツ仕舞  
式四十六元

仕舞 米水 式石四斗  
糶米 四石  
一石  
九月六日より

酒あけ口 九月十六日より十一日目ニ上ケ  
しやうちう打込 初ハ一元へ三斗七升ツ、後ニ半元へ五斗ツ、  
其後一元へ五斗ツ、

たり  
糶式一石九斗 但、元糶ハ外也

はい もろみ壹元へ五合ツ、オミ酒へ一元へ五合ツ、  
實目 はたか式十貫式百匁ツ、

全 式十四 十月四日ニ元致ス、立冬より二日前

添 米水 一石  
糶米 三斗  
十月廿七日より、廿四日目

中 水 一石六斗  
米 式石六斗

仕舞 水 式石四斗  
米 一石式斗

酒上ケ口 十一月十九日より、廿日目ニ上ケ  
打込 なし

繩かけ 常之通り

貫目 はたか式十貫二百より四百匁迄

但、貫目掛ケ不申、樽一盃ツ、詰申候故貫目ニ少不同有之候  
たり

糶 式石一斗 元糶ハ外也

元糶、元米、新備前、掛ケ米ハきしへ中・地米ハ小・新備前大

全 六十元 十月十六日ニ元致ス

添 水 一石  
米 一石三斗  
十一月十四日、廿九日目

中 水 一石六斗  
米 式石六斗

仕舞 水 式石壹斗  
米 四石  
糶 一石三斗  
十一月十九日より

糶 式石式斗 但、元糶ハ外也

酒上ケ口 十二月十七日より、廿八日目

打込 なし

貫目 はたか式十貫四百匁より六七百匁迄

皆掛ケ式十一貫四百匁より八百匁迄

貫目掛ケ不申候ニ付少々不同有之候、樽一盃ツ、詰申候故也

繩かけ 常之通り也

樽ハ巻不申候

糶米ニ備前遣、元と添・中・仕舞ニハきしへ米遣申候

全 拾六 下銀り 十一月十七日ニ元致ス

添 水 一石  
米 一石三斗

正月四日より、四十七日目

中 水 一石六斗  
米 式石六斗

仕舞 水 式石四斗  
米 四石  
糶 一石式斗

正月八日

酒あけ口 二月十三日より、三十五日目

打込 なし火不入

貫目 はたか式十貫四百匁より六百匁迄

但、貫目掛ケ不申、樽一盃ツ、詰メ申候故、貫目ニ少不同有之候

糶 式石壹斗 但、元糶ハ外也

たり

はい 一元へ一升六合ツ、入レ

享保六年辛丑酒造

頭司 利右衛門  
脇 丹波屋伝兵衛

四十元 八月五日二元致ス、彼岸より三日後

添 米水 一石  
糶 三石 八月十七日

中 米水 一石六斗  
糶 六斗 日数廿日ニ仕舞、始終武ツ仕舞、  
四十元

仕舞 米水 武石四斗  
糶 四石 八月廿日より

酒あけ口 九月三日ニ上ケ、十四日目  
糶一石八斗 但、元糶ハ外也

はい もろミへ一元二升五合ツ、八元  
十式元八一元へ一升式合五勺ツ、

はい すミ酒へ一元二式升五合ツ、  
しやうちうハ八元へ一元二式升五合ツ、十式元へ八一元二式  
斗式升五合ツ、残テハ見合ニ一元へ式斗ツ、入レ申候へとも

治定ハ不致候

實目 はたか式十貫式百匁ツ、  
米ハ本家ノ遣方同前

全 四十元 九月十三日二元致ス、立冬より四日前

添 米水 一石  
糶 三石 十月十日、廿七日目

中 米水 一石六斗  
糶 六斗

仕舞 米水 武石四斗  
糶 一石式斗 十月十三日より

酒あけ口 十一月三日より、廿一日目  
實目ハはたか式十貫四百匁より  
皆掛ケ式十一貫より式百迄

打込 なし

繩かけ 常ノ通り也

米ハ本家と同前ノ内柳米本家ニハいやかり除ケ候へとも、出見  
世ニハ子細も不申不残酒ニ遣申候

全 四十式元半 九月廿九日二元致ス

添 米水 一石  
糶 三斗 十一月十日、四十日目

中 米水 一石六斗  
糶 六斗

仕舞 米水 式石式斗  
糶 一石三斗 十一月十五日より

糶一式石式斗 但、元糶ハ外也

酒あけ口 十二月十四日より、廿九日目

實目 はたか式十貫四百匁、皆掛ケ式十一貫式百匁  
打込 一元へ三斗七升五合ツ、

繩かけ 常之通り二所  
樽巻不申候

米ハ大概本家と同前

上白きね数三千式三百ツ、跡白ハ三千七百迄も有之候

全 七ツ半 十月十九日二元致ス

添 水 一石  
米 一石  
糶 三斗  
十二月十六日、五十七日目

中 水 一石六斗  
米 式石  
糶 六斗

仕舞 水 式石四斗  
米 四石  
糶 一石式斗  
十二月廿日

糶 式石壹斗 但、元糶ハ外也

酒あけ口 正月廿三日、三十四日目

實目 はたか式十貫四百匁、皆掛ケ式十一貫百式百匁

打込 なし

はいハ一元へ一升ツ、

一 六元 十一月廿九日二元致ス

添 水 一石  
米 一石  
糶 三斗  
正十四日、四十五日目

中 水 一石六斗  
米 式石  
糶 六斗

仕舞 水 式石四斗  
米 四石  
糶 一石

糶 一石九斗 但、元糶は外也  
酒あけ口 二月八日、廿一日目

實目 はたか式十貫四百

打込 三元へハ一元二五升ツ、  
三元へハ一元二七斗五升ツ、

なわノかけ様 火入りハ下鋳り、火不入ハ常ノ通り也

但、水多キ分へ火ヲ入レ申候、尤煮詰ニ致ス

本米一元へ式石九斗ツ、

小米一元へ六石ツ、

全 印脇頭司之覚

享保式年酉ノ冬

天半肝煎天津村 治左衛門

本家ノ 長兵衛

おき野 庄九郎

山本 五兵衛

松屋与兵衛肝煎 与兵衛

脇 小浜ノ 長治郎

本家ノ 長兵衛

脇 山本 五兵衛

脇 下<sub>(下市場)</sub>は 又兵衛

脇 山本 五兵衛

脇 山本 五兵衛

脇 丹波屋伝 兵衛

一、新九郎江戸へ下り申ハ享保三年戌六月五日ニ伊丹瓮足致候

同丑ノ冬

享保五年子ノ冬

同亥ノ冬

同戌ノ冬

享保七年寅酒造

頭司 利右衛門  
脇 伝兵衛

八十元 八月十五日元初 彼岸より三日目

添 米水 一石  
糶 三斗  
九月朔日、十六日

中 米水 一石六斗  
糶 六斗  
日数廿日ニ仕舞、式ツ仕舞

仕舞 米水 式石五斗  
糶 四石九斗  
九月四日より仕舞

酒あけ口 九月十六日より、十三日

しやうちう 一元へ三斗七升五合

はい 一元へ五合ツ、但すみ酒へ

もろみはい 一元へ一升五合ツ、

賈目 はたか式十貫式百ツ、

米ハ本家と同前

全 式十元 九月十六日二元致ス、立冬より十三日前

内式ツ傘

添 米水 一石  
糶 三斗  
十月八日、廿二日

中 米水 一石六斗  
糶 六斗

仕舞 米水 式石三斗  
糶 四石一斗  
十月十一日より

酒あけ口 十一月七日、廿六日

賈目 はたか式十貫四百ツ、

繩かけ 常之通り

打込 一元へ片馬ツ、

はい もろみとすましと両方へ一元二付一升五合ツ、入ル  
米ハ本家と同前

全 七十 式所 十月五日二元致ス

添 米水 一石  
糶 三斗  
十一月十日、三十五日

中 米水 一石六斗  
糶 六斗

仕舞 米水 式石三斗  
糶 四石一斗  
十一月十四日、寒より十六日前

糶 式石式斗 但、元糶ハ外也

十二月十一日より酒あけ申候、廿八日

賈目 はたか式十貫四百匁、

又風袋八百匁、

式十一貫式百匁

打込 一元へ三斗七升五合ツ、

繩かけ 常ノ通り、樽もまき不申候

右式百太ハいせこしなし、残りハいせこし致候

はいハもろみとすましと両方へ式升ツ、

米ハ元米ハきしへ、掛ケ米ハきしへと備前両米也、遣分之法如

左

添・中・糶ハ地米

仕舞斗り備前

一 元 五元 十一月十一日二元致ス

添 水 一石  
米 一石  
三斗  
正月十九日、六十八日目

中 水 一石六斗  
米 一石六斗  
六斗

仕舞 水 一石五斗  
米 一石五斗  
四石  
正月廿三日

糶一石九斗 但、元糶八外也

酒あけ口 二月廿五日、三十三日目

實目 はたか式十貫四百ツ、ニ致し申筈ニ而候所、古樽ニ而候

故か一はい詰申候ても漸實目十八貫六百匁より十九貫四

百迄有之候、古樽故實目かろく候と存候、樽一はい故無

是非候

打込 右五元へ三太、此升式石式斗五升

当年ハ不残火ハ入レ不申候

繩かけ 常ノ通り也

本米一元へ小升ニ而四石七斗ツ、

小米一元へ小升ニ而四石八斗ツ、

樽ノ上書 小西小兵衛と致し候

全 五元 十一月十一日二元致ス

添 水 一石  
米 一石  
三斗  
正月十六日、六十五日目

中 水 一石六斗  
米 一石六斗  
六斗

仕舞 水 一石五斗  
米 一石五斗  
四石  
正月十九日

糶一石九斗 但、元糶八外也

酒あけ口 二月十八日より、三十日目

實目 はたか式十貫四百匁、風袋八百匁、式十一貫式百匁

打込 一元へ片馬ツ、

はいハ、一元へ一升五合ツ、

平野町酒也  
冷 十元 右全ノ元也

添 水 一石  
米 一石  
三斗  
正月廿日

中 水 一石六斗  
米 一石六斗  
六斗

仕舞 水 一石五斗  
米 一石五斗  
四石  
正月廿三日

糶一石九斗 但、元糶八外也

酒あけ口 二月廿二日、三十日目

三元ハ打込なし、七元は一元へ片馬ツ、

はいハ一元へ一升五合ツ、

右桶持しニ致し、庭ニ有ル古桶五本へ入レ置申候